京城日報
十二月二十五日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇伯林勞兵會騷擾

アムステルダム來電＝二十二日伯林よりの報道に依れば伯林勞兵大會は騷擾を極め徒らに個人間の論爭を事とし未だ何等の結果を見る能はずと（東京特電）

◇リーブクネヒト列席拒絶

伯林來電に曰く獨逸勞兵大會は來る一月十九日開會せらる可き國民大會にリーブクネヒトの列席を大多數を以て拒絶せり尚リーブクネヒトは議會の前庭に於て演説を試みたるが群衆は著しく昂奮せりリーブクネヒトは臆する色もなく熱辯を振ひ社會的並に政治的革命の必要を力説せり（東京特電）

◇機關車引渡期日

獨軍は一月十六日迄に鐵道機關車五十輛を聯合國に引渡す事を要し若し正規の通り引渡を爲さざる時は更に五百九十輛の機關車を取立らる可し（巴里電）

◇伊皇帝ヴェルダンへ出發

巴里來電＝伊太利皇帝は皇太子同伴ヴェルダンに向け巴里を出發せり（東京特電）

◇マ大統領首府入り

里昂來電＝二十一日チエツク、スロヴアツク國大統領マサリツク博士は多數の人民に圍繞せられてチエツクスロヴアツク共和國首府プラーグに入り市民の大歡迎を受けたり（東京特電）

◇支那委員桑港著

講和會議に列席す可き支那委員四名は此の程郵船チャイナ號にて桑港に到著せり（桑港電報）

◇佛首相信任通過

巴里來電に曰く佛國代議院にて殆んど一對三の大多數にて首相クレマンソー氏に對する信任投票を通過せり（東京特電）

◇獨北部佛破壞高

佛國の上院に於て發表されし北部の報告に據れば獨軍が北部佛國に於て行ひし破壞損害額は六百五十億法に上れり（巴里電報）

◇遣英宮御出發

東伏見宮依仁親王殿下には各隨員を隨へさせられ二十一日東洋汽船西伯利丸にて桑港御出發在らせられたるが横濱御着は明年一月六日或は七日の御豫定なりと（東京特電）

◇定例閣議開會

二十四日午前十一時より首相官邸に於て定例閣議を開き首相以下各大臣列席（田中陸相缺席）左記事項を決定したる後午餐を共にし午後一時散會せり（東京特電）

朝鮮總督府通信官省現業從事勤勉手當給與の件（外七件）

◇政府委員

廿五日發表

第四十一回帝國議會の政府委員は二十四日の閣議にて決定二十五日議會の成立を俟ち同日午後内閣に於て發表せらる可し（東京特電）

◇衆議院各派勢力

第四十一回帝國議會に於る衆議院各派の勢力左の如し（東京特電）

▲政友會 百六十五人 ▲憲政會 百十八人 ▲國民黨 三十七人 ▲新政會 二十七人 ▲清和俱樂部 二十四人 ▲無所屬 十八人

◇政友總務委員會

政友會にては二十四日午後閣議散會後首相官邸に於て總務委員會を開き原、中橋、高橋、野田、元田、岡崎、床次、山本氏等の各役員川原茂輔等の四十一議會の院内役員の銓衡其他に就き打合すところあり同二時過ぎ散會せり（東京特電）

◇對議會策

政友會意見交換

原敬氏は廿四日午後六時築地花屋に床次、高橋、野田、山本、元田、岡崎、望月氏等の各政友會役員を招き忘年會を兼ね對議會策其他に就き意見の交換を爲したり（東京特電）

◇海運界希望條件

日本船主同盟會の陳述

日本船主同盟會にては今回海運界を代表し講和委員隨員として出張を命ぜられたる近藤廉平男に對し海運界の希望條件を陳述すべく同會理事河内堅太郎、四井喜一郎、十崎忠雄の三氏を派し、近藤男を訪問せしめ（一）世界的に積荷吃水の統一を圖ること（二）沿岸貿易開放（三）運河及び海峽の開放等の希望を述べしめたり（東京特電）

◇特許輸入許可

倫敦山崎總領事廿一日發廿四日外務省着電、十二月廿一日以降明年三月一日迄左記物品の一般特許に係る輸入を許可せられたり（特電）

（一）動力に依り運轉せらるゝ木材截斷用及び製材用機械（二）動力に依り運轉せらるゝ金屬截斷用刑附用或は細工用具及び機械

◇國庫證券發行

對露軍需品代金決濟處理の爲めにする臨時國庫證券額面百六十萬千八百五十圓を發行する旨廿五日官報を以て告示す可し（東京電）

◇臨時教育會議

臨時教育會議は廿四日午前九時より首相官邸に於て會議中岡文相は豫算の關係上本年度の教育會議は本年を限り終了す可しと述べ左の諮問案を提出し協議の上主査委員に附託する事とし正午散會せり（東京特電）

學位に關する制度に就て改善を施す可きもの無きや若し有りとせば其要點如何

◇仙波中將招待

地方有志の盡力を謝す

留守第十二師團長仙波中將は廿三日午後五時より門司若松各市長各部團隊長各官衙會社長同新聞記者百廿名を小倉偕交社へ招待し席上師團長は師團下令及び出征凱旋の際に於ける地方有志の盡力を謝し且目下留守各隊勤務中の豫後備役は二十五日を以て全部解除し又同師團の西伯利派遣中全部凱旋する事となりたるより宜しく各位の御……を乞ふと述之に對する同部……紙所次長の答辭あり頗る盛宴なりき（門司特電）

本紙定價　廣告料　京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社　發行兼編輯人　奧田直　印刷人　小川三之介　電話番號　振替

◇德嶋選擧結果

德島縣に於ける補缺選擧は廿四日開票の結果政友會の原田佐之治氏當選せり（東京特電）

◇總督釜山通過

長谷川總督は二十五日朝連絡船高麗丸にて釜山上陸佐々木慶尚南道長官其他官民多數の出迎ひを受け十時三十分發列車にて北行午後九時南大門驛著歸任すべしと（釜山特電）

◎墺太利の政情

獨逸種は不離

▲國民議會 墺國內の政情に付き二十二日伯林着倫敦電報に據れば墺國內の獨逸種人民は過般來分離して獨逸との合併を希望しつゝ統一を圖りしが明年一月一日愈々國民議會を召集するに決し最近選擧法公表せられたり其概要は同民族の住民地を三十八選擧區に分ち比例選擧に依りて議員を選出するものにして議員總數は二百十二名と規定せられ尚其選擧權は（一）丁年以上の男女（二）丁年に達せざるも今次の戰爭に參加せる者全部に對して附與し被選擧權は三十歲以上の男女にのみ附與するものなりと

▲妥協成立 又維納及附近は石炭の缺乏極度に達し各種工場は全然閉鎖し電車は運轉せず電燈は點火せず實に慘澹たる光景を呈しつゝありしより政府はチエック政府と過般來交渉を重ね而して獨立宣言地方は石炭の出產豐富なれば其補給を得んと努力中なりしが去る十二日に至りチエック政府と在來政府との間に協調成立し維納市內は漸くにして熱と光明とを得、蘇生復活の感あるに至りライヘンベルグに避難中なりし在來政府は此程再び維納市內に移轉せりと

▲ス族獨立 メーレン地方のスロバック民族はチエック民族の氣勢に乘じ且つ背後の列國の後援力を頼み頻りに四方を侵襲し横暴を極むるより之に對し反感を懷くに至り將來聯合して一の和國を樹立するを忌避する傾向ありしが遂に去る十一日正式にチエック族と分離し別に獨立する旨を宣言せりと（東京）

講和進程

米大統領の苦心

▲準備會議未し 講和會議の進程に就て公式に協議せられつゝある次第は屢報の如くなるが重なる聯合各國及び米國との間に準備會議を第一歩とするは勿論にして此準備會議の結了するに非ざれば聯合與國全部の協議に入らざるを原則としたるもの、如く斯くて對獨交涉及び一般平和の大問題に及ぶまでには幾多の段階を經べきことも亦略ぼ豫定の事實なりとす先づ休戰期間の延長せられたるも獨逸が休戰條件を履行せざる爲めといふよりは前記第一歩の聯合國準備會議が未だ目鼻の附かざるこそ重なる原因と信ぜらるべき理由あり畢竟聯合準備會議が急速度を以て進まざる消息を洩らすものなる可し

▲大統領の意氣 右につき一要路の語る所によれば元來今次の講和會議は大戰の經路中米國の偉大なる貢獻ありしに加ふるに其出發點が米國の斡旋と提唱とを基礎とせる關係上殊に大統領ウイルソン氏の渡佛して其事に當るからには何は扨置きウ氏に對して相當の尊敬を拂ふことゝなる可く而もウ氏の態度は國內に於ける對黨及び國人の一部より渡佛に就いて非難あり提唱條件の當否に就て攻擊あるに拘らず挺身離國して着佛即時、自家の抱負と使命を宣明するのみならず熱烈なる希望を講和會議に繫ぎ依つて以て國際聯盟、海洋自由等大問題の解決を實現せんと絕叫したり最近の情報によればウイルソン氏は先づ以て平和の大綱に入り一切の會議一切の條件細大を擧げて其翼下に集中すべく努力するものから勢ひ準備會議の前提にも此精神を以てするもの、如く與國亦ウ氏が平和の爲めに熱誠を注ぎ千歲の爲めに邁往する其意氣を諒とするは云ふまでも無く飽まで協調の方針を持續するは言を俟たざれども十四箇條の提唱中には當初より協定の至難なる問題あり

▲談判地の空氣 殊に海洋の自由の如きは嚢に英國は保留せる關係ある其上に近頃英國海軍協會は斷固として露骨に反對の意見を公にし自國講和委員に對して表明より註文する所あり其他各國共に夫々議論を生じ談判地の空氣は大統領の豫期をして一籌を輸せしめ難きは勿論十四箇條の協定が頗る至難なるを思はしむるものありてウイルソン氏も胸中苦心一方ならずと云ふ、固より與國が平和確保の精神より隔意無き商議を進むるに異議なきことなれば終局の成果は相當に示さるべきも講和會議の進程が容易ならざる難關を控へ居るものと認めざるべからずと云へり（東京）

◎値上申請を撤回せよ

理由なき京電の値上計畫＝敢て會社當局に勸む＝

京城電氣會社が歲暮に迫つて突如電燈料の引上申請を行つたのは如何して何故である乎、此の六月に一割値上した時も會社の主張に聞き遞信當局が一面には各地の燈料の權衡より一面は電氣社員の待遇消耗品價格の前途上の申請を卻下すべしとの內意を會社に傳へ會社が蒼惶一件書類の取下げを願出て辛くも體面を繕つた當時と今日との間に於て電燈事業の經營上如何なる變化が起つてゐる乎、大戰爭終熄による時勢の推移と物價の大勢より見て去る六月に狼狽して値上申請を取下げた會社が以前の事は忘れ返つたやうに又復一割引上げの申請を行ひ年額八萬圓強（木本專務談）社十萬圓内外の增收は過大ならずと辯じて行つた、から訂正して（十萬圓增く）の增收を得んとする事はそれ程正當な理由があるのであらう乎吾人は常識を以て容易に判斷し兼るのである

▲獨占的橫暴 此の夏の値上げ問題を起した動機は撫順炭價從來一噸九圓のものを四圓九十錢上げの十三圓九十錢に改められ、半期に七八萬圓の支出增を餘儀なくされるからと云ふにあつた、故に吾人はその支出增加額の全部を市民に轉嫁するは不法なり市民と會社とはその半ばづゝを負擔すべし此の見地より最も石炭な川島山鎭南三地の市電燈料一割並に京城電車賃の引上げ及び製作品の漲騰、賃金の引上げ等の理由より電力料金の若干引上げを容認し會社も亦當局の許可を經て之れを獨行し京城の電燈料の引上げを行ひ各種用當額の支出をなすに足りぬ程不當なものであるかを聞ひたい、吾人の聞く所にして誤りなくんば京城電燈料の純益は投下資本の二割強に達すると云ふ、然も尚ほ値上を行はんとするは餘りに獨占的の橫暴にあらずやといはざるを得ぬ

▲炭價の大勢 電燈の經營に最も金を喰ふのは石炭である、その價格は何等値上りの事實がない、寧ろ石炭は先安の大勢にある、何故ならば炭價の騰貴後に至つて騰貴せるは需要の激增と共に運賃も大なる理由であるが需給の關係は外、船腹の不足より來る運賃の激騰が市價を煽つたのである、然るに大戰は終局を告げ船價運賃は今や漸落の步趨を辿つてゐる、從つて運賃によつて上つた炭價は下らざらんと欲するも能はぬのである。或はその急落は各種の關係より困難かも知れぬ、但し少くも上がらない、下るべき運命を有つてゐると云ふ事は、大勢論として斷じて一向差支はないのである。會社の用ゆる電線各種機器電球等の如き事務用の物品も恐く然りだ、乃ち會社は現行の料金で凝乎として居れば自然に經營難——限りにありとすれば——を脫せらるゝのである、何を苦しんで此際不當不自然の値上げを行ひ市民の怨府たらんとするのであるか

▲無類の特權 會社當局は一割の高率なら兎も角料金でも可能だと云つてゐる、又今回の引上げ計畫が時局の爲ならざる事は吾人も之れを知る、而して各期の決算を見るに興業費の銷却もやり社內保留金も相當に出來而して自然の增收より社員の優遇費を生み出す位は何でもあるまい、二萬や三萬の社員好遇費をとる名目の下に十萬圓近い增收を企らむのは如何なる譯乎＝殊に京城電氣は其當の特權を有してゐる天下無類の特權である、それは府營業税を免除されてゐる事だ、天下の公道を使用し城内京城に營業を營んでゐる會社は電燈の營業税を一文も府廳に納めてゐない、之れはコールブランの經營時代韓國政府との間の既得權をその儘會社が繼承してゐるのであつて何も京電の不德を云爲するのではない、然らかゝる特權あり他に比して燈料金も高い營業成績も相當の大勢上述の如しとすれば此値上計畫を樹つる必要はあるまい、當局よりも內意を受くる前に先づ出してある申請書を取下げるが好い之れを會社に勸告する

◎陞叙 二十日附官報を以て朝鮮總督府判事勳六等河原健之助氏從四位陞叙の外朝鮮貴族其の他高等官十四名に對し叙位ありたり

◎水原殖銀開店

朝鮮殖產銀行にては水原市民の要望より二十五日より驛前に本店營業課の派出所を開店したるが右に付中村理事の談に曰く水原には漢城銀行の支店あれば遠く城內に位置せるため驛附近の商人は頗る不便あるらしく殖銀に對して一店開設の希望あり同地は出殺地として相當に聞え且つ近く烏山をも控へ居れるに付當局の取組も相當にあり浮江特水中に與包と京城方面の商取引は同地を經由するもの多く、旁一店の開設を行ふに至れり

◎北夜行運轉

二十五日安東行より二十五日の夜から京義線の夜行は南大門驛發安東縣行共に運轉する事となつた、同時に湖南線、京元線の取消列車も平常の通りになる、これで十月以來流行感冒の蔓延や滯貨の整理のため交通旅客は少からぬ不便を感じてゐたが、その不便を除かる、都合である

◎專用輕鐵認可

豫て三菱製鐵會社より出願中なりし黃海道載寧郡南栗面に於ける延長約五十七鎖五十六節の專用輕便鐵道敷設の件は二十一日附許可の指令ありたり

◎追加試驗施行

總督府雇員にして朝鮮語及び國語の試驗延期中なりし內地人十二名朝鮮人二名は二十五日午前十時より總督府第二會議室に於て追加試驗を施したり

◎敎員試驗發表

本年十月施行せられたる小學校及び普通學校敎員試驗合格者中第一種試驗合格者は內地人二名、第二種試驗合格者は朝鮮人六名、第三種試驗合格者は朝鮮人六十五名にして右は二十六日總督府官報にて發表さるべし

◎納稅事務打切

京城府稅務係にては歲末に際し國稅、府稅、組合費等の滯納者に對し極力取立中なるが府及び龍山出張所の收納事務取扱は二十八日限り打切る筈なるが滯納者猶多數に於ては末日迄も處分を爲すの止むなきに至るべく斯くては歲末多端の際官民の不利妙からざれば滯納者は遲くも二十八日迄に府又は龍山出張所に納入ありたしと

中野中將視察

鎭海灣要港部司令官中野中將は二十六日夜行にて第二浦に赴き同地三菱製鐵所を視察すべしと

◎芳澤參事官

芳澤支那公使館參事官は二十四日夜京城を通過すべく報ぜられたるが同氏は二十五日夜通過南行の旨其の筋に入電ありたり

◎小原長官轉地

小原農商工部長官は約二週間の豫定にて轉地療養の爲め東萊溫泉に赴くべく多分二十八日頃出發すべしと

◎東拓と公州

東洋拓殖會社江景出張所主任安井苑氏は來る二十八日が會社創立十周年に相當するを以て二十三日午後六時當公州梅の家に於て盛大なる祝宴を開きたり來賓には桑原忠清南道長官を始め各國係官廳新聞記者等數十名に達せり

人事消息

▲東條明次氏（總督府官房外事課長）仁川入港日本郵船（大阪）にて二十五日上仁歸京
▲齋藤忠北部 廿五日朝入京

八面鋒

◇京城電氣會社が點燈料に向つて一割の値上を試みつゝあることは前號夕刊所報の通りなるが、昨日同會社の木本專務わざわざ我社を訪ひ、縷々陳辯する所ありたり。即ち同專務の語る所に依れば、今回値上を爲さんと欲するの理由は主として使用人の待遇費に充てんとするものにして會社自身の利益を圖らんとするにあらずといへり

◇我社も此點に於ては、初より同會社の意志を諒解するものにして敢て其の增收金使用の目的に就いて可否を唱ふるにあらず。我社が値上を不可とするは、同會社が戰時物價の騰貴せる最中に現在の料金を維持しながら、時局は既に平和に入り、諸物價（特に電燈に直接に關係ある石炭、鐵材等）が漸く落の指針を示しつゝある今日に於いて、料金値上の理由は毫も存せずといふに在るなり。

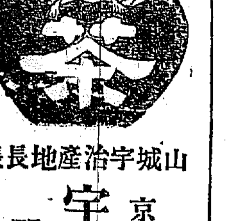
◇若し同會社にして使用人優遇の必要に迫りつゝあらば、宜しく利益配當を減率して、其の資額を捻出さんとするは、聊か當の好手段なり。それも京城電燈が他に比較して從來低廉の料金なりとならば、格別、十燭光一個の點燈料に於いて何處に於いて見出し得ざるの値段なるや。

、元來獨占事業たる電燈の如きは先づ第一の市民の公益を頭に置き考ふべきものにして、株主配當金の如き其次たるべきこと當然なり、若しいよく利益なしとせば、株主たるものは市民公益の爲に或には無配當をも忍ばざるべからず

◇次に電氣會社の宜しく注意すべきことは、內部の整理を完成し、二重に電燈料を要求するが如き態を矯正せざるべからず。又會社の使用人等がムヤミに威張り散らし、得意先に對して無禮の言動を爲さざらしむるを要す。又各戶に附する粗製の電球を引替へざるべからず。是等は些細のことの如くなるも、市民の感情を損ふこと頗めて深し。是等の事を顧みずして、妄に値上を爲さんとするが如きは、餘りに市民をバカにしたる所業ならずや。

◇木本氏は我社が値上に關して何十萬圓の增收を圖らんとすと誹謗するに對し、前半期の報告に依り、市中の電燈料約三十萬圓なれば、一割增額するも三萬圓に過ぎずと辯疏したり。是れ或は然るべし。然れども我社の計算せるは後半期を通じたるの數字（後期に於ける增收を加へ）ならば、低く見積るも七萬圓以上に上ること受け合なり。されば十萬圓內外の數に誤りなしとせば、七八萬圓內外と訂正するに吝ならざるも、元來事の可否曲直は二萬圓、三萬圓の數字の差に關せず、即ち値上其ものを不可とするものなることを重ねて此に聲明す。

謹啓 弊店儀過般來は火災の爲め混雜に取紛れ營業上に關し萬事御得意樣方の御滿足を相缺き甚だ申譯無之候處昨二十四日より從前通營業開始仕候間何卒倍舊の御愛顧御引立の程伏而奉懇願候 謹言
大正七年十二月二十五日
綿糸布 洋反物 雜貨 貿易商 仁川京町 鬼頭兼治郎本店
電話長六六番 電略キ又ハ（キト） 振替京城六八番

歲暮御進物用

山城宇治產地長張
京城明治町 宇治屋本舖
長電話四百十二 振替京城五十七〇

最新流行ショール肩掛こまや向店に陳列

▲特價提供▲
スコッチ製
◎子供マント（標準裁縫付キ）（ネル裏）
二尺二寸 二尺四寸 特價金八圓也 特價金八圓五十錢
スコッチ製
◎厚司（丈三尺二寸）特價五圓八十錢 送料十八錢
出來合品多數以上百枚ヲ限リ上記ノ破額値段ニテ提供仕候
朝鮮京城府
合資會社京城日報社代理部
電話六〇九番 振替京城三〇〇番 電略（ケ）

諸物運搬 人夫供給 請負業村上組
組長 村上喜代藏
事務所 龍山元町一丁目 電話四六六番

優等清酒

福岡縣三井郡川村山
醸造元 富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 富安京城支店
電話四二三九番 振替口座四三九番
御賀御誂へ

元山名產かきしほから特價提供
發賣以來多大なる好評を博せる元山名產かきしほから諸物價暴騰の折柄にも拘らず京城出張所開設一週年自祝の爲め年內に限り左記特價にて提供可仕候間御用命を乞ふ
滋養豐富年末年始の贈答好適品 定價參拾五錢
元山名產 かきしほから 特價卅參錢
特約店
京城旭町二丁目電話一八五一番 元山 橫山兄弟商會京城出張所
京城南大門 池尻商店
京城北米倉町 島屋販賣部
仁川宮町 矢上商店

◎獨帝退位の一幕

＝十一月八日場所は白耳義スパー
退位などゝは思も依らず…

◇ヒンデンブルク元帥等は退位の決行を促す◇

ロッテルダム來電＝前獨帝の從者の一人は前獨帝が白耳義スパーの獨軍大本營より和蘭に逃るゝ以前スパーに於て惹起せし一事件あり其顚末を告げんとて左の如く語れり……

◇十一月八日白耳義スパーなる獨軍大本營◇

獨帝『退位などとは思ひも依らず、朕は各將軍に對して最後迄踏止まるべきを命令せん、朕も亦大元帥として最後迄踏止まるべし、朕若し去らば獨逸軍隊は革命思想に冒さるべし、此時獨逸を渾沌の狀態より救はんとせば巨大なる損害を要す』

斯くて翌九日大本營に於て長時間に亘る協議行はれ午後九時皇太子は大本營に著したり時に獨帝皇太子に告げて曰く『踏りて軍隊に告げよ、朕は普魯西王として未だ退位す可にあらず』暫らくにしてヒンデンブルグ元帥はグレーネル將軍及び外相ヒンツエと相携へて來れり間も無く海軍大將ジエア氏も亦來會し彼等は頻りに獨帝に向ひて此際普魯西王の退位を決行するの時機に適せる旨を陳述したるに……

獨帝『朕は近々皇太子と會はざるべからず』

と主張したるが遂に周圍の者に諫められて自ら和蘭に逃れたり……

……こは是れ恐らく獨帝退位の眞相の世界に初めて發表せられたるものならん（東京特電）

◎『吾妻』『常磐』來る

練習生百二十を載せて仁川著
中野練習艦隊司令官に率ゐられ
二十六七の兩日京城に學をなすべし

二十五日午前十一時運霧を壓して練習艦二隻仁川港頭月尾島沖に投錨す中野直枝中將の率ゐる百二十名の候補生を乘せたる練習艦隊吾妻常磐はそれである艦は二十三日午後一時大連を拔錨穩やかなる海上に諸種の練習を續けつゝ豫定の如く二十五日

仁川へ入港

颯爽たる艦旗を寒風に飜して港頭を壓して居るのである艦隊の入港と共に仁川よりは楠野府尹松元警察署長永井土木出張所長中島監視課長平田觀測所長市橋郵便局長及び京城よりは東條武官矢野龍山憲兵分隊長等秋麗汽船に搭乘旗艦吾妻に艦隊を訪問した

▲候補生京城見學 百二十名の候補生は廿六日午前八時二十分仁川驛發九時三十五分京城著臨時列車にて京城各所の見學を爲すべく廿七日は乘組下士以下四百名京城を見物すべく因に同艦隊は廿六七八の三日間仁川碇泊廿九日午前九時拔錨鎭海に向ふ

▲府尹の招待宴 楠野仁川府尹は碇泊中の練習艦隊乘組將校二十餘名を二十五日午後六時仁川鱗樓に招待歡迎宴を催すべし

▲軍艦見物許可 廿六日より三日間
仁川碇泊中の練習艦隊吾妻常磐の二艦は廿六日より廿八日迄午前九時より午後三時の間一般の觀覽を許すべし然れども時冬季にし海上常に穩かならず二浬の沖合へ渡行するは頗る危險なるを以て特に好天氣を選び觀覽するの要あるべし

◎ロー孃は四日著か
米國女流飛行家リューズ、ロー孃は去る十六日桑港を出發したる分米國太平洋汽船エクワドル號に便乘し一月四日横濱に到著すべし（横濱電報）

◇練習艦隊司令官 中野直枝中將

◎兩殿下德壽宮御訪問 歲末御挨拶の爲め
李王同妃兩殿下には歲末御挨拶の爲め閔長官國分次官以下職員を隨へられ二十五日午前十一時半昌德宮御出門德壽宮に李太王殿下を御訪問遊ばされ種々御物語りの上午後三時御歸還相成りたり

◎李王家よりの御荷物 ＝東京著＝
朝鮮李王家より王世子殿下に宛御荷物三個貴重品扱にて二十二日午後八時三十分東京驛著の筈なるが多分御結婚式に關する御調度品ならんか（東京）

◎前獨帝病臥
前獨帝ウイルヘルム第二世は風邪の爲め目下臥床中なり（倫敦電報）

◎露曆か新曆か 全露政府困る
◇クリスマスは一月七日◇
全露政府は來るべき新年を新曆に依て露曆十二月十九日に祝せしめん意嚮なるが斯く變更すれば迎年數日後即ち一月七日基督誕生祭を迎ふるが如き顚倒の不便ある爲め之が公表を大いに考慮しつゝあり（敦賀）

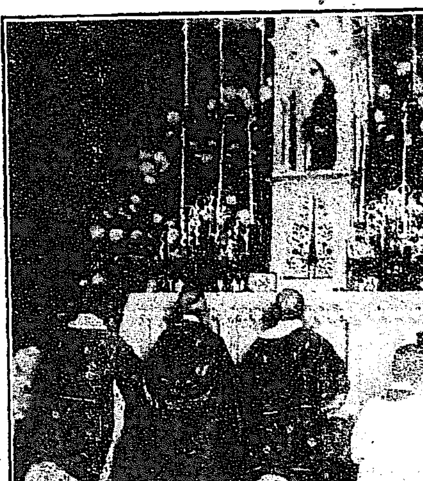
◎日本最初の畜產工藝博覽會
李王職から珍動物出品

來春三月東京に開催 明治維新以來、我國人の日常生活に必要なる衣食の變遷は甚だしいもので殊に裝身具、食料品其他に畜產物を使用する度は高速に進んでゐる然も國民多數が是等

◇畜產物の恩惠を解せぬ は國家經濟上深憂に堪へずとて此度宮殿仁親王殿下を總裁に戴く中央畜產會では來春三月十八日から五月末日上野池の端に畜產工藝品博覽會を開催し大いに畜產事業の紹介に努めると云ふ右に就き藤井設計主任は語る『各種の博覽會、共進會で一部に毛織物等を陳列した事はあるが畜產工藝專門の

◇博覽會 は未だ世界を通じて無かつた少くも日本では最初のものである近來日本でも毛織物は日常生活に無くてはならぬ物と珍重されてゐるが毛織物以上に古くから使用されて居る革、骨、紙等も同じ畜產物である事を大抵の人は著かないでゐる、夫等の知識を紹介する爲め來年は恰度牧法發布三十年にも相當するので

◇大規模 の博覽會をやる事にした、博覽會は略先に開かれた電氣博覽會で評判の良を受けた上野山下の停留場側に作り正門を這入ると五百坪の模範牧場を見せ其間を通つて陳列館に行かれる樣にする、陳列場は本館の外三百坪の別館を臨時建造して植民館、參考館とにする、朝鮮李王職からは彼の地の珍動物四五種を出品相成る由である（東京）



佛蘭西教會の聖祭 ＝廿四日夜（上）聖壇に跪くミュッテル主教以下の敎役者（下）歡びの祈りにある信徒

◎空の輝き 地の彩り

＝夢の殿堂の如き佛蘭西教會に＝
敬鐘夜の沈默を破りて鳴り出づれば幾千の蠟燭の下に白衣の信徒は感謝の祈りに入る……
平和第一年聖誕祭擧げらる（廿四日）

フランス教會のクリスマスは廿四日の晚十二時即ち二十五日の午前零時から執行された高臺の夜は更けて風は死んだやうに凪ぎ、金砂を撒いたやうな星が青黑い大空に瞬いて居る

♣大自然 の神秘境を背景として教會堂の尖塔正面には大十字を掲げて耶蘇降誕祭の文字を現はし地上から尖塔の頂へ弧形に吊された數百の提灯は寶玉のやうな種々な彩りに映ねて宛然空中に浮き出でた

♣夢の殿 堂を見るやうな柔かい快感を唆る、堂內には白衣の信徒が充ち滿ちて一樣に聖壇の方へ向つて跪き祈りの騒ぎが廣い堂內の壯處に漏れるのみで咳聲一つ聞ねない、やがて十一時半になると沈默を破つて鐘聲が響き渡る、と聖隊を安置した一段高い

♣聖壇に は數百本の蠟燭が點ぜられ堂內は窓際にも幾千本となく臘ねられた蠟燭に一齊に點ぜられる、堂內は忽ち神々しく耀き莊嚴の氣が堂內を壓する、十二時になればミュッテル主教が錦繡燦たる式裝をして著席し禮拜や祈りを捧げる、すると靜かに

♣讃美歌 の合唱が起り幾度か讃美歌が繰り返された、そして平和明けの第一クリスマスはいとも靜肅に莊嚴に而も涙を誘ふほどの喜びを以て執行された、斯くて只祈りと讃美歌を以て終るべきフランス教會のクリスマスの夜は靜かに更けて行つた。

◎敬神の念深きに驚嘆
鮮人教員內地視察團員の手紙
先日來觀光視察中なる鮮人教員內地視察團一行は吳鎭守府杉本副官に宛て書面を寄て曰く吳海軍工廠に於ける戰艦伊勢の巨大及び壯嚴なるを始め其の技術の進步せる皆驚嘆の外無く殊に內地人の神佛に對する敬虔の念深きと洋服を著せる立派なる紳士よりも寧ろ夫以下の人の却つて敬神の念深きを見受け候云々と（東京電話）

◎少年少女の冬の御休み 今廿五日から……
京城學校組合の管理に屬する京城府內各小學校及び高等女學校では既に歲末に近づき第二學期の授業を無事終了して二十五日から一齊に冬期休業に這入りました通學兒童を有して居た此處彼所の家庭では今迄に引替ての賑やかさ御陪庭先の枯木迄も何だか

▲歲末 氣分から早くも新春の悅びに移つたやう、嬢ちゃん坊ちゃん達の御遊び對手を努めてゐるのも面白いではありませんか御正月の元日にはどこの學校でも拜賀式が行はれ初春の詣を子供ごと祝ひ納めることになつてゐます、それからは又暫く御休みで双六、骨牌、羽子其他の冬らしい又御正月らしいユーモアーに充ちた御遊びが思ふ存分出來ると云ふものです、斯くて

▲正月 も一日と過ぎ二日と過ぎて光陰の早きを覺ゆる頃は來るべき第三學期の科學準備に氣を付けねばなりませぬそして高等女學校は十一日から新學期を開始し府內八小學校では十三日から新しい喜びの學期を迎へることになつてゐる相です先づ學校の御休み中はこの嬢ちゃん坊ちゃん方も兄さんや姉さん僧ては

▲父さん 母さんの言ひ付けを能く守つて出來る丈け御內の御手傳ひをなさることでせう

◎古錢學者の御資格で佛國學士會へ ＝伊皇帝巴里御訪問
伊太利皇帝は皇子リードモンド親王と同行二十日午來巴著皇帝は二十一日學士會に臨席し古錢學者の資格を以て同會委員會に組入せらるべし二十日帝の爲め巴里は公式に休日とせり（巴里電報）

◎一回四百人前を料理

總督府醫院のお臺所
物價騰貴の爲御馳走に苦心する

お臺所の大きいのは何と云つても軍隊と監獄だが是れ以外では總督府醫院など大きい方の旗頭であらう患者の食事から職員看護婦の辨當まで賄へるのだから……多い時には一回分五百人前位の支度をする事もあるが

▼四季の中 で一番入院患者の賑いと云ふ此頃でも一回分四百人前を下らず每日米二石、牛肉、鷄肉二十貫、野菜五十貫、乾物五六貫、味噌三四貫、醬油七八升、漬物十貫目をペロリと平げる相である夫で料理人はタッタ八人他に配膳夫と云ふものが廿四五人居て野菜を洗ふとか牛蒡の皮を剝ぐとかお手傳ひはするが愈庖丁を揮ふのは此八人である所が熟練の力と云ふものは恐ろしいもので料理振りの速いことは驚く許り殊に

▼魚類專門 の料理人などは今日は少し品が遲れたなと思ふやうな時でも決して間誤付かず一時間も經たぬ中に立派に何百人前と云ふものを捌いて了ふ然も其百人前と云ふものが一々目方を衡つたやうにチャンと形が揃つて居るなどは全く人間業とは思はれぬ位である入院患者の食事は入院料の高下により特等から四等までに分れて居るが元來が營利事業でないから出來るだけ

▼御馳走 する事にして居るとやら試みに最近に於ける特等の献立と一番需用の多い三等の献立を紹介すると

特等
▲朝 惣上等味噌汁、韓海苔、漬物、切鮮花鰹節、漬物
▲晝食 吸（甘藷）、チキンロース（付合せマセドアン）、魚揚浸（付合せアチャラ）、煮物、甘藷玉葱大根、小鉢物（杜鵑甘煮）漬物
▲夕食 吸物、大和汁、燒海苔、魚紫丹燒（付合せ澁昆布）、野菜物（ウヤノミ大根煮）、小鉢物（錦落し）漬物

三等
▲朝食 波蘿蕈味噌汁、汐昆布漬物
▲晝食 魚佃煮煮、魚大根、野菜物（蒸し茄子、落ッ（高野豆）漬物
▲夕食 取肴（夏燒蓬萊長芋）小鉢物（雜鼠酢物）吸物（魚醤味）漬物

▼係の人の話 によると『何分彌生の此節隨分遣り惡いところを勉強して居るのだ相なが人の口には限りのないもので何うしても係の苦心も知らず不平を並べる患者があるには全く以て閉口すると云ふことである

◎土俵の上に二十年 横綱西ノ海引退す

＝井筒となり更めて働きます＝
近代の美しい大力士型の一人 春場所限斷髮

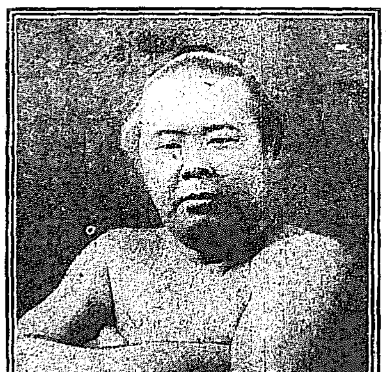
西ノ海は明年愈引退することになつた新に發表され番附には永い馴染の西ノ海の名は既に取除かれて年寄の部に新に井筒なる親方名前となつて現はれるであらう彼が其長身

▲偉大の體軀 と堂々たる素撲振とは明治から大正にかけての大力士型の一人であつた彼は引退に就ての所感を語つて云ふ『私が初めて力士になつたのは明治廿二年の九月で初めて本場所の土俵に上つたのは翌廿三年の一月場所からでした其時共に前相撲を取つた新弟子は九十人ばかりでしたが今殘つて居るのは綾浪の港川千年川の立田山雲龍の千賀ノ浦に男島と私の五人で其內三人は既に親方になり土俵に上つて居るのは

▲私と男島の 二人丈です私ももう四十になります是が他の業なら働き盛りの年頃ですが力士の四十は素人の六七十と云つても能くもう老込みですから早く引退して若い者の爲めにもした方が相撲の爲めだと思つて引退することにしました乃で先頃故鄕の鹿兒島で引退相撲をしましたが愈

▲土俵に上つ て行司が其の口上を觸れるのを聞いた時永い西ノ海で土俵に上がつたのも是が愈お名殘りかと思ふと胸が一杯になつたのはやつぱり未練でせうか云ふのでせう併し考へて見ると私が始めて力士になつた時生れた子供が今日廿位の新弟子で土俵に上がつて居るのですから何だか分が可笑しいもまごくしてるのが

▲氣恥かしく て堪まらず斷然引退と決心し是れからは更めて親方の新弟子となつて働きます』と尚彼れは明春一月場所打揚げ後引續き九段に於て二日間花々しく引退相撲を催した上斷髮式を行ふさうである（東京）



◇年寄井筒になる西の海◇

◎廣島木炭工場 苦力使用
◇日給一圓也
廣島縣高田郡川根村木炭製造場にては今回支那苦力を使用する事となり月給一圓向ふ二箇年間雇傭契約にて廿二日四百十一名下關著にしたるが廿三日更に百餘名著關の由にて我國に於て斯く多數の支那苦力を使用するは之を嚆矢とすべしと（下關）

◎安東縣近事
▲自動車運轉開始 [illegible]氏の經營にかゝる安東自動車商會[illegible]
▲銀行問題會合無 支那商務總會及び日本有力なる當業者は二十二日數十名を招待せり
▲李昌郁氏開業 千葉醫學專門學校[illegible]
[illegible]く二十二日午後一時より畔山府[illegible]したり因に組合設立認可申請は組合員の調印を取纏め不日提出の運[illegible]

◎北學校組決算
慶尙北道內四十二學校組合大正六年度[illegible]殘額二萬二千九百三十八圓八十二錢三厘を翌年度に繰越したるが歲[illegible]十九圓なり而して大邱府を除く二[illegible]組合の歲出總額は一千七百七十[illegible]
[illegible]に佛教青年會なるものを設けあり毎月八日定例の開會を爲し各宗[illegible]

天氣 大曇 [illegible]

演藝案內

有樂館 株式會社小林商會直營 早川興業部直營 活動寫眞常設館
▲十九日より特別寫眞公開 ▲參考寶窟石炭殘ひ上げ 全一卷 ▲悲劇 愛國心 全五卷 ▲毒瓦斯と砲火 ▲人情劇 海の娘 全五卷

黃金館 特別大勉强金拾錢均一

英國軒ハレー一行

壽館 本町二丁目

文樂座 本町五丁目 新派悲劇『漂ふ舟』全十五場

大正館 ◎活劇『闇の焰』全五卷 ◎悲劇『雪と炭』全五卷

休戰と毛布

金牌受領
本椿香油
男女頭髮用本椿ポマード
毛を黑く長くつやを出し
本舗 大阪西横堀 三宅堂

賛化病院 京城明治町一丁目 電話二四一番
內科 小兒科 入院隨意 施療す 每日五名を限り
醫學博士 古城憲治 醫學士 打田義芳

新田帶革 朝鮮總代理店 白神洋行

模範 牛乳 李王職御用 東西牧場

ニウソ 洗粉 石鹼

大學病院 模範方劑
KAZEPIRIN
解熱 完全劑 カゼピリン 東京 淺野樂天堂

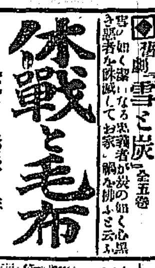
秋の風引には

商業登記公告
鐵原支

星谷洋服

破格廉價提供

德用タドン 三割引廉賣 小林商



は二十四日より營業を開始せり線路は六番衛より大和旅通市場通り四番通りを經て六番衛に往復するものなりと

[illegible]なりしも都合により中止せり

◆委員長の招宴 安東行政委員會委員長杉原佐一郎氏は二十三日午後五時より料亭霽光樓に委員會關係[illegible]

◎群山金融總會 既報群山金融組合員總會は豫定の[illegible]決定し役員の選定は銓衡委員に一任するに決し別室に於て直ちに設立委員會を開き銓衡の結果役員として左の諸氏決定組合員總會に附議決定 (組長)福田龜造(幹事)松本市次郎、西村又三郎、中鳴雨(理事)谷垣嘉市(評議員)森田新興、德永晋助、花岡楯松、橫山興市、神林松吉、松場延太郎、大澤藤十郎、芥川元一郎、金洪斗、洪朝鎬

[illegible]總額十六萬六千百廿八圓廿一錢同歲出十四萬二千四百二十九圓八十八錢七厘此差引殘額二萬三千六百九十八圓五十三錢三厘の內七百五十九圓五十一錢は基本財產に繰入し[illegible]

[illegible]七千[illegible]圓にして[illegible]五千五百圓の約半額を占め[illegible]ぐに次以下迎日の四千九百圓、金泉の四百四圓南浦の四千四百圓の順序にして最も少きは[illegible]郡の七百[illegible]

◎咸興と佛教 咸興には[illegible]比較的盛んなり在住內地人五百戶に對し寺院數四ありて之れ[illegible]

◎流行性惡感冒の罹病者が なぜ朝鮮人に多かった
誤れる治療法と醫療機關の不備
迷信的治療の弊と衛生思想の欠乏

過般猛烈なる勢を以て各地を風靡したる惡性流行性感冒の平安南道內に及ぼしたる影響につき當局の調査したる狀況を聞くに左の如し(平壤)

◆流行の系統 今年南道內に於ける流行の順序を見るに平壤鎭南浦安州等の如き鐵道沿線にして交通の頻繁なる市街地より順次各地にその猛威を振ふに至れり而して其產業に及ぼしたる影響を示さんに農業者は一般に收穫又は出穀の時期を遲延し爲に多少

◆收穫に影響 し其減少を見るの止むなきに至りたるも幸ひに昨年來引續きて一般豐作なりしと穀價の騰貴したるとに因り中度以上に在りては左したる痛痒を感ぜざるも下層農民に至りては收穫の遲れたる爲め之れを賣却して冬季準備に齟齬を來し且つ

◆薪炭の切出し 等にも支障を生じたる等一般農業は稍時期を遲れたるもの、如し次に礦業界に於ては物價騰貴に因る勞銀の昂騰に打擊を受け居りし矢先き夫の罹病せしもの續出したるを以て產出額に於て多少減ずるに至りたるもその流行期間の比較的短期間なりし爲め

◆鑛業界にて は比較的影響少かりき更に勞働者側にありては概ね之に冒され一時その影響甚だしかりしも當時勞働者の拂底及び物價騰貴に勞銀上騰せしこその罹病期間の是れ又短期なりし爲め之れを補ふを得たるを以て

◆勞働者側は 生活上大したる支障なかりき然れども一面諸般工事にして結氷前に竣成すべき事業が勞働者の罹病の爲め遲延し解氷期を俟たざるべからざるに至りたるは止むなき事と云ふべし商工業者に於ては多少の影響を蒙りたるものあるもその被使用者たる

◆社員職工等 の罹病狀況が交互的なりし爲め全然休業するが如き甚だしきものを見ざりき官衙銀行諸會社等も前述の如く事務員間に於て交互に罹病休業したるの狀態なりしを以て

◆官廳會社等 にて一時は多少事務の澁滯を免れざりしも極めて短期間に快復するを得たり而して本病の傳播力の比較的速かなりし原因は鮮人は元來冬期にありては居室を密閉して多數人雜居の慣習あるを以て

◆空氣傳染性 を有せる本病の蔓延一層甚だしきは免れざる事實なるに加ふるに十月十八日頃より寒氣頓に加はりし爲め更又罹病者を多く出すに至りたり而して患者中死亡者の多數續出したるは由來

◆鮮人は寒冒 等に罹り發熱したる時は室內を密閉して漢方治療をのみ施すの惡弊あり爲に肺炎其他の併發によりて死亡するに至りたるもの多く且つ郡部に於ける醫療機關の不完備なると衛生思想の乏しきとは

◆迷信的治療 の尙根絕せざることに起因するもの亦多し本病蔓延に際し平安南道に於ける豫防方法としてその施設したる事項としては道警務部より各警察署に對し注意を與へたるが今その內容を列記せば左の如し

本病流行地に於ては(一)祭祀、供養、興行、集會等の如き多數の群集の集合するを制限し(一)個人衞生に十分注意を促進し(一)患者又は患家と接近出入は可成的避くること努力せしめ(一)過勞を過らざるよう注意を與へ(一)公醫をして治術に從事せしむると共に豫防法の研究を爲さしむる等萬般に亘り勸諭を爲したり本病の人に及ぼしたる影響の又甚だしきもの一二に止らず這は既に屢報じたるを以て略す(平壤)

◎新義州に於ける貿易の新記錄
◆移入品額の激增と特產の外に楓葉◆

新義州に於ける貿易の輸移出入共逐年著るしき增加を示し來れるが殊に大正七年に於ては其現象顯著なるものあり乃ち本年の豫想貿易額は輸移出五百二十二萬七千六百三十二圓輸移入は八百六十五萬八千四百七十九圓合計一千三百八十八萬六千百十一圓にして之を前年度に比較する時は輸移出に於て三十萬七千七百二十二圓(二割一分增)輸移入四百三十三萬九千二百五十九圓(約十割增加)の割增を示し開港以來の新記錄を作れり其原因たる第一近年地方經濟界の好況に伴ない一般取引の增加による第二鮮內諸事業の勃興に伴なふ原料の輸移入製品輸出の增加による第三價格の昂騰等によるものにして若し夫れ輸送上の障害鐵價の昂騰等の現象なかりせば其貿易額は甚しき空前の盛況を呈せしなるべし更に主要輸移出品の內容に就き見るに當港の主要品たる米は(輸出制限令と鮮內取引等の爲め)大豆は季節の出廻り遲れ)鐵(輸送上の障害により)黑鉛(米國輸入禁止)楓葉(エキス工場の新設)による等の關係上多少の減少は免れざりしも其他の魚類、毛皮、熟皮、皮革製品、木材及び小包郵便等の輸增により前年に比し二割以上の增加を示し又輸移入にありては食鹽酒類金巾及び晒シーチング、綿、綿織等の二三に於て多少減少を見たるも其他の各品何れも增加し就中石炭、機械類、栗、小麥粉等は殊に顯著なるものにして約二倍に增加せり本年一月以降十一月迄の貿易額を見るに輸移出は四百七十七萬四千百卅二圓同上十二月中の豫想四十五萬三千五百圓合計五百二十二萬七千六百三十二圓輸移入は一月以降十一月迄七百九十二萬五千九百七十九圓、十二月中の豫想七十三萬二千五百圓合計八百六十五萬八千四百七十九圓なり(新義州)

◎近時勃興せる安東縣の工業 (一)
新義州稅關派遣調査

安東縣は人口約六萬(內支那人五萬八人、內鮮人約一萬人)を有し新義州との經濟關係益々密接するに到れり、されば安東の消長は直ちに新義州の貿易經濟界に影響を及ぼすべきは今更ら多言を要せず 安東縣に於ける工場として相當の資力と設備とを以て經營するものを擧ぐれば製材工場(二十二、製函を含む)造船所(二)油房(一)鐵工所(五)精米所(一)燐寸軸木工場(二)柞蠶糸工場(三)製錬所(一)煉瓦工場(三)木工場(三)硝子工場(一)發電所(一)合計五十一箇所にして凡て內地人の經營に屬し其の支那人經營のものは油房(二三)柞蠶絲工場十七、其他小規模の工場は殆んど枚擧に遑あらず其重なるものを擧ぐれば次の如し

製材と木工(上)

◆鴨綠江製材無限公司 工場は去る大正四年十月一日の創立にして資本金は百萬圓、生產品は製材製函材料及び木工等にして其出資者は鴨綠江採木公司と大倉組の合同事業なり、動力は電氣三十五馬力蒸汽四百五十七馬力現在使用人員は千百三十五名なり、製品の販路は滿洲、北支那、上海及び日本なり

◆東亞木材株式會社 は大正七年十一月の創立にして資本金三十萬圓專務取締役は花戶晃一氏にして工場は石油發動機十八馬力を使用し製材製函材料を製出す一箇年の生產原木は一萬二千尺締價格十五萬圓、販路は主として朝鮮滿洲にあり

◆南滿洲製材公司製函工場 は大正七年五月の創立にして其の代表者は高橋英起氏資本金は二十萬圓にして工場は大正八年度に於て設立すべく其の建設費及び機械購入費は約九萬圓なりと云ふ、工場の目的は製材製函にして近々敷地の埋立を終るべし

◆加來製材所 は大正六年三月の創立なるが其の經營者は加來音吉氏なり資本金は十萬五千圓、工場の動力は蒸汽機關三十五馬力、使用人員三十餘名、原木消費は一萬八千尺〆、價格二十三萬四千餘圓なりと

◆浦元製材所 は大正七年十月の創立にして其の經營者は浦元獻藏氏、資本金は二萬圓動力は蒸汽七十五馬力、使用人員五十四名一ヶ年の原木消費は約三萬尺締の豫定得意地は朝鮮、滿洲及び青島方面なりと

◆川崎製材所 は大正六年一月の創立にして經營者は川崎深氏、資本金三萬圓、動力は電氣十馬力不日二十馬力を增加すべし、使用人員五十二名、目的は製材にして販路は朝鮮、滿洲各地にあり

◆吉井製材所 は大正五年六月の創設にして經營者は吉井芳之助氏資本金七萬圓、目的は製材業にして能力は原木九萬六十七百尺締を消化するの力あり、動力は蒸汽三十馬力、使用人員は約六十五名、販路は朝鮮七、滿洲三分の比なりと

◆渾製材所 は明治四十三年の創立にして經營者は唐津朝吉氏資本金二萬五千圓、一ヶ年の製材力は三萬尺締、動力は蒸汽七十五馬力、使用人約六十八名、り販路は滿洲、朝鮮、天津、上海等なり

◎滿洲の製煉業
◆安東縣製錬所の希望◆

大倉礦業株式會社安東縣製錬所主任大谷新平氏の談によれば同所に於ける現在の原礦は本溪湖銅鐵公司の經營にかゝる馬鹿溝銅山より來るものと安東縣天和公司の經營にかゝる安東縣銅鑛嶺銅山より採掘するものを併せて一箇月約三百噸又朝鮮よりは平安北道を主として咸鏡南北道、全羅南北道等より來るもの及び支那直隸省遷安縣方面より來るもの等を加へて總數一箇月約七百噸なるが一箇月の製品は銅約二十五噸、其の副產物として純金三貫匁銀六貫匁にして銅一噸一千三百五十圓として三萬三千七百五十圓純金一萬五千圓、銀一千五百圓合計約五萬圓の製品を出すに過ぎず然るに本製錬所は最初より利益を眼前に打算せず近き將來の發展を企圖して創立されたるものなるが其の理由如何と云ふに支那產の鑛石を日本又は日本の領地に輸出せんとせば如何なる貧鑛と雖も一擔即ち百斤に付海關兩の二分の一兩を課稅せらるゝ規定なるを以て現在の爲替相場より打算する時は實に一噸に付我三十二圓の關稅を課せらるべし然るに鑛石の如きは最上位のものにして一噸五六十圓のものなきにあらざるも貧鑛として見るものは約一噸十四五圓內外なるを普通とす斯の如き背市の稅金を支出して朝鮮又は日本內地に支那の鑛石を輸送せん事は到底採算上引き合ふべきものにあらず然るに此の鑛石を朝鮮より安東即ち支那の領土に輸入することせば假りに噸十五圓の鑛石とせば從價の五分七十五錢の課稅のり其の上鐵道輸送による時は三分の一の免稅あるを以て僅々五十錢の稅金を負擔するに過ぎず依つて本製錬所が距離遠隔の朝鮮地より買鑛する所以なり當製錬所の理想とする處は朝鮮方面の買鑛よりも寧ろ支那領土內に良質の銅鑛を求めんとするものにして若し日本人又は支那人にして相當の品位を有する良鑛を採掘せんとするものあるに於ては當所に於ては可及的形而上形而下の援助又は指導をも辭せざる覺悟なり要するに當製錬所の現在は採算上の利益を度外視し將に來らんとする南滿洲方面の銅及び金銀鑛業の進展を希望すると同時に漸を追うて斯業の發達を圖らんとするものなり

◇◇賣に出た工場◇◇
◇五十萬圓と十五萬圓◇

沿海州に於ける某製材所(資本金十五萬留)と今一つ某製粉所(資本金五十萬留)の二つが賣りに出てゐるさうである。買入希望の方は哈爾賓商工會議所へ申出でられたいといふことである(哈爾賓)

◎牛の市
◆名高き平南牛の產地◆ 非常なる賑ひ

平安南道平壤郡は平安南道內に於ける畜牛の主產地たるが本年八月一日より十一月三十日に至る四ヶ月間の移輸出頭數は四百三十一頭に達しその仕向地の主なる地は內地下關なりとす

◆賣買の狀況 今回同郡に於ける畜牛の賣買の狀況を聞くに郡內の主たる地は順川及石岩面の三市場にして商人の買收するものは二歲以上六歲未滿の優良牛なるもの、みを限り買收し居れり、而して其の價格は三萬四千八百十一圓に達せり

◆買收と影響 叙上の如く來になき市場の盛況を呈したるは同地方に於ける經濟界の進展を來したるものとして大に悅ぶべき現象なるが今之によりて地方に及ほした影響として其の買收せらるべきものは優良牛のみを選擇されたる結果市場出牛中漸次

◆良牛減少 するに至れり、而して此等移出向牛を出場せしむるは何れも商人のみにして最初は隣接地の牛市場に於て購入出場せしめつゝありしも逐次良牛の缺乏を來したる爲め遠隔の山間部方面より購入せざるの止むなきに至り、而して此等商人が山間部地方に於て

◆良牛購入 の狀況を聞くに普通農民の買收價格より一割又は五分の高價を以て購ひ居れるの狀態なれば市場は例年になき殷盛を極め隨つて優良ならざる農牛にもその影響を及ぼし遂に一般牛價は近來非常の

◆暴騰 を示したるは一に是れ優良牛の選擇に起因せるものなるべく一面一般農民の畜牛思想向上を來しその數も亦增加するに至れり(平壤)

◎住友家の造林

襄に住友家に對し貸付けたる慶尙北道英陽郡所在の國有山中約六千町步に對する同家の造林計畫の概要を聞くに之れが貸下料金は一箇年十二百圓にして十箇年計畫にて約十萬圓の經費を投じ主として天然樹の保育及び植林を爲すもの、由而して之に要する苗圃約十七町步は既に之が栽培に著手したるが一方又此の造林の進捗に連れ各樞要地に三四箇所の監視所を設け、然る上保育と增林を試むべしと(大邱)

◎奧の景氣
藝妓酌婦の收入三四百圓 廣大な建物が幾らでも=哈爾賓
券番株式會社

◇◇繁榮の裏面◇◇ 花柳界の賑ひ

近頃哈爾賓の景氣の好い方は大したもので其半面に於て必ず伴ふべき花柳界の繁昌も亦想像以上であつたと其地を視察した人の話に曰く

些し不粹な名だが
ポテワヤ街とフーチャデン

哈爾賓の花柳界はポテワヤ街と傅家甸に其粹を集めポテワヤ街の料理店九軒、傅家甸同六軒、藝妓七十七人、酌婦百六十九人去十一月中の稼ぎ高八萬二千七百圓一軒割にすると一軒が五千五百十三圓之を一人別にすると三百三十七圓といふ破天荒な收入であるが之に對して資本金五十萬圓(拂込四分の一)の株式組織で哈爾賓券番株式會社が出來て之に附屬する藝妓九人師匠二名といふ顏觸で愈ポテワヤ街に開業したのである之に續いて東京式の待合も一軒近日中に出來るとかで外にも未だ目論でゐるものもあるさうである

◇◇繁榮の表面◇◇

銀行も會社も工場も病院も何れと云ふに哈爾賓の繁榮は他地方の豫想以上で來春匆々三井物產も出張所を支店に改め朝鮮銀行も莫大なる事務所を既に購入し大建築を起し又某社もあるが其他松花銀行は十一萬圓を投じ土地を買入れ東省實業株式會社の如きは北滿景氣の爲に四階造の大ビルデングを設け[illegible]既に[illegible]一齊となつた、さらに[illegible]會社として[illegible]工會社、信託會社、其他陸軍御用達社も六箇所に出張所[illegible]大立物たる北滿、鐵道共に工場の大擴張を行ひ、[illegible]石橋兩氏は合同して埠頭區に一大病院を設立するさうである。

◎咸興に於ける英國人の經營
◇學校と高等女學校◇ 內地人の教師も

咸興に於ては英國人マグレー氏の經營に係る私立永生中學校は校長マ氏の外一名の內地人教師と四名の鮮人教師を置き八十名の鮮人生徒を教育してゐるが此の生徒の中には遠く西伯利亞乃至北間島より遙々笈を負うて遊學し來れるものさへある殊に其中には黑河ハ小學校を出たものもある、何分基督本意の教育であるから生徒の品行は頗る方正で試驗の時の如き教師の監視が頗る寬やかであるに拘らず狡い事杯をする者は一人もないといふ事は誠に賴母しいことである

校長は妙齡の處女
熱心に朝鮮人の子女を教育す

咸興高等女學校もあつて之は前記マグドナルド女史の經營に係るもので女史は未だ妙齡の處女であるが熱心な信仰と慈愛とを以て鮮人の女子教育を一代の事業として居ることとの事である。されば學資の無い者で篤學な婦女があれば何んな山の中からでも伴れて來て費用を出し懸命に教育してゐる現に甲山、三水地方から伴れて來た者もある生徒は目下三十三名で咸興に父兄を有する者の外は全部寄宿舍に生活して居つて相當な年配の婦人を監督にして寄宿舍には樂器杯も備付けてあつて[illegible]娛樂をさせてゐる

惡い習慣が二つ
見つこもない惡風と盜癖

一體咸興……獨り咸興と云はず北鮮地方一帶……の鮮人婦女子間に惡い習世がある、ソレは內外を區別すこと稱して外出する時は必ず頭に布片を戴いて出歩く事で甚だしきは小兒の衣類杯を二つ折にして平氣で頭の上に載せて歩いてゐることである夫から更に甚だしきは婦人に盜癖があることで市場に於て買物をなす際商人に些少の隙があると必ず何か一品位の物を盜むことで此婦人間に於ける惡い習慣は殆ど常習の如く思はれてゐたのであるが兎に角子教育の普及したら斯んな陋習は過去の夢と化するであらう(咸興)

◎輕鐵發起人一行 五州輕鐵發起人一戶金次郎氏一行は全南より馬山に來り宗月旅館に滯在中なるが同一行は馬山にて越年する[illegible]

◇◇川柳壇新設◇◇
選者 劍花坊先生

川柳は平民文學中の最も趣き深い事にして、源を江戶時代に發し、明治三十六年井上劍花坊先生起つてこれを新時代に當てはめしより日に月に隆盛を極めつゝあり、本紙は來大正八年一月の紙上より川柳壇を新設し、劍花坊先生を以て選者とし、左の方法を以て弘く全道吟士を迎へんとす

(一)用紙ハガキに限る、無制限なれども題毎にハガキを別にせられたし(二)一月十日〆切(三)表面に『川柳投稿』と書入る・事

題 例 京・城・日・報……讀込四句

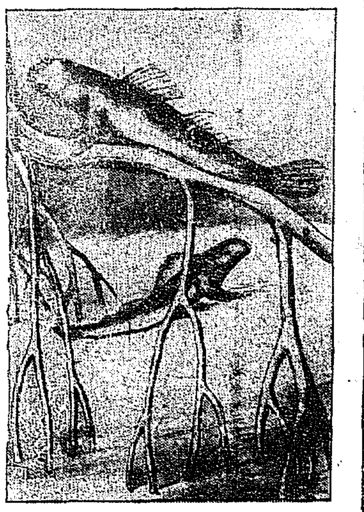
京 (字結び意味共に宜し)
東の町西の町上り下り　古川柳
京で見た物言ふ花を忘るる　劍花坊

城 (同上)
楠の鼻を抑へて釆を振り　古川柳
今なる日に頤城は抱き　古川柳

日 (同上)
十三日迄は大石笑はず　劍花坊

報 (同上)
雷報の危篤も心矢の如し　劍花坊

樹に登る魚の話
附・婦人病一切の最善療法



樹に據つて 魚を求むる如し」といふ諺が昔からありますが、これは說明を要するまでもなく難問題だといふ意味の例を示してあるのです。なるほど魚類は海とか河とか或は池といふやうに、必ず水中に棲息する動物であります。この水棲動物たる魚類を、果物か鳥類でも探すやうに樹間に求めるといふのは無理な事に相違ありません。然し乍ら

魚類は絕對 に木に求める事は出來ないかと申しますと、中々にも意外千萬な、木登をする珍な魚族がありますので、この面白い事を聽ひてみますと「樹に據りて魚を求むる如し」といふ古諺は用途を失つて仕舞ふ譯であります。この木登魚は南洋濠洲の海岸には澤山棲んで居ります名をペリヨフサルムスと申して寫眞で御覽の通り、

大きな目玉 を頭の頂上につけて居ります。お腹の鰭は恰度據り樣な恰好になつて居ります。この鰭でノコリ〱と木登をやらかして恰度蛙の子の樣に、澄まし込んで日和を待つこを致します、その癖なかなか氣轉が早くて、人の足音でも近づかうものなら大急ぎでコトリと地上へ落ちて、すぐ水中へのたくり込んで仕舞ひますから

中々捕まら ぬそうであります。今日の時世の樣に、內外の交通の開けた文化の御世には、諸君方はこの通り新聞紙一枚で南洋の珍妙な話を聽きながら、ペリヨフサルムス魚の寫眞まで觀ることが出來るのでありますから、今日ならば『樹に據つて云々』の格言は出來ない譯であります。

何事も變化 こんな風に時世の變遷に連れて變化して行くのでありますが、最近の醫療界に一大革命といふ程の問題となつてゐるのは、諸君も御承知の通り和漢藥即ち漢法醫藥の流行であります、一時洋藥萬能の時代には漢法藥や漢法醫は舊式陳腐なものとして極端なる輕蔑を受けたのであります、ところが近時は東洋の學者ばかりでなく、斯學の先進國と誇つてゐた

歐米諸國の 專門學者までが、東洋民族の數千年來實用し來つた藥物中には、實に洋藥の遠く及ばぬ卓効物があること特に『中將湯』といふ婦人藥などは西洋には見當らぬ特殊な靈藥だといふので、近頃では大分に使用者が增へて參りました、波濤萬里の異境にまで慇懃に大歡迎を受けつゝある光榮ある『中將湯』は、日本內地にはいかなる

邊土寒村に も至らぬ隅なく行渡つて、どこの藥舖でも販賣かれて居らぬ所はないのであります。本紙の愛讀者中に、婦人病即ち血の道子宮病こしけ、と謂つたやうな容態の方がありましたならば、一日も早く中將湯の藥効で健康體とおなり下さいませ。海外にまで名聲嘖々たるこの靈藥を忘れてつまらぬクスリなどに迷ふて居られたならば、それこそ

[illegible] この說を免れません。今更申上げるまでも無い事ですが、藥劑の眞價は何んであるかと申しますと、それは一にも二にも『效力』であると答へなければなりませぬ。世間に婦人藥も數多ありますが『中將湯』に匹敵する程の効力あるものは絕對に無いのであります。この卓効の眞價は何時とは無しに萬人の固い信用となりまして、今日では『中將湯』の賣行高は

他の同効藥 を遙に凌駕して居ります。一時『振出し位』と輕視したのは、往昔の學者が木登り魚を知らぬと同樣に、未だ醫學の進步が振出藥の靈妙作用を覗ひ知る事が出來なかつた爲でありました、今日では一流の醫學大家が口を揃へて振出藥の妙効を稱へるやうになりました

豫報 後晴

京城測候所發表 昨日最高溫度 氷點下一度四 前日最低溫度 氷點下十二度四 [illegible] 氷點下十一度八分

痔疾專門 京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目(本町より入る中央) 電話二一〇
院長十二月中旬より出張豫定の處患者の都合に依り當分出張を延期す

宮內省御用達

ヒゲタ醬油
千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造
代理店 京城明治町二丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店
電話長八四九番・四五四番 振替貯金口座京城七五番

秋風立初め候
荒れを防ぎ色艷の美を保つ美顏ユーマーの御用意肝要と存じ候

月出でゝより
物皆美しくユーマー出でゝより人皆美し、自然の力、學者の力

美顏ユーマー
桃谷研究試驗所創製の美容液にして光榮ある御化粧料三十六種の內

資本金六百萬圓
拂込金百貳拾五萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話四二〇番五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

商況

東京株式特電

二十三日前場

東株	……	三六八、四〇
同新	……	一三二、五〇
商船	……	一三三、〇〇
同新	……	……
郵船	……	一〇七、五〇
同新	……	一〇四、八〇
東汽	……	……
同新	……	一五二、〇一
鐘紡	……	……
同新	……	一五三、四〇
東京十紡新	……	……
寶田石油	……	……
横濱取引	……	……
新高製糖	……	……
北海炭礦	……	……
南滿鐵新	……	……

東京現株中値

二十四日

東株	二三三、〇〇
同新	二〇三、五〇
朝鮮銀行	一五八、〇〇
同新	……
南滿鐵道	一五一、〇〇
第一新株	一一六、〇〇
第二新株	七七、五〇
南滿製糖	二一、二〇
朝鮮製糖	……
南洲製粉	……
京城電氣	五七、〇〇
同新	一八、〇〇
朝鮮瓦斯	二三、〇〇
商船	二〇〇、〇〇
同新	一四三、五〇
郵船	二〇二、五〇
同新	一〇六、〇〇
鐘紡	二七七、五〇
同新	一五三、〇〇
東拓	……
朝鮮興業	……

東京期米特電

二十三日後場

高値	三十八圓二十錢
安値	三十七圓八十二錢
止め	三十八圓二十錢

大阪三品特電

日前場

十二月限	三五五、〇〇	……
一月限	……	……
二月限	……	……
三月限	……	……
四月限	……	……
五月限	三三〇、二〇	……

大阪株式特電

二十五日後場

		止め
宇治川水	吾、〇〇	……
京阪電鐵	吾、〇〇	……
東洋紡績	吾、〇〇	……
合同紡績	吾、〇〇	……
攝津紡績	吾、〇〇	吾二、四〇
同上新株	四〇、〇〇	四〇、〇〇
東洋製糖	吾、〇〇	……
大阪商船	三、吾	一〇〇、四〇
同上新株	吾、〇〇	五五、〇〇
郵船	吾、〇〇	一〇〇、〇〇
同上新株	吾、〇〇	一〇〇、〇〇
堂島米穀	吾、〇〇	……
東京株式	一五五、〇〇	……
大阪株式	吾、〇〇	三三、〇〇
同新株		一〇二、七〇

大阪期米特電

二十五日前場

寄付	三十七圓九十四錢
二節	三十八圓十一錢
三節	三十八圓 十 錢

兵庫期米特電

日後場

寄付	三十六圓九十五錢
高値	三十六圓九十五錢
安値	三十六圓六十二錢
止め	三十六圓六十二錢

下關期米特電

二十四日後場(一地高き崩氣し)

	當限	中限	先限
寄付	三七、〇〇	三七、五〇	三七、六〇
高値	三七、八〇	三七、八五	三七、九〇
安値	三七、〇〇	三七、三〇	三七、四〇
止め	三七、二〇	三七、四〇	三七、五〇

二十五日前場 高値の利喰ひ退きに伸悩む

雜報

●正米更に強し 思惑買行はれ 更に二三十錢高を見當唱ふ

正米は依然出廻著少なく一部手筋に於ては先高見越しの思惑買行はれ、ある機先内地の米の引締まりさ定期の高值に買人氣を煽り来れる掛合ひにて必然高値を忍むで買附くる模様ありて從つて本日は昨日より更に二三十錢高を見當唱へられ標準は日本米三十一圓在米正三十六圓五十錢處なるも此邊を手に入り難く眼先へ地にして高からか更に年内上向くや測り知れざる可からず年末にも切迫し來れる小北にたしたる需臨は望み薄し石は米は三十四圓見當なり

●糯は値下げ 年末需要不振

各精米に於て賣出し豫定數の準備も出來したる後なるも原料高と諸物價の價格別の繰りなき為め目立ちたる關係より年末需要不振にて今日迄の荷動きは前年同時の半數にも滿たざる有様にて大體中心して仕入れ為せ當業者も持品の捗取らざるが為め餘儀なく値下げ行ぐの掛合ひあり其結果は小賣値として上物一錢方引下げ四十七錢据物は更に一錢方引下げ四十五錢以下を以つて賣應ずるに至れり尙現今の採算よりすれば一段の下餘地なきにあらざるも仕入れを急ぎし小賣店にては既に四十七八錢處の買附品を手持し居れば御安品の手持筋も同業者間の讓錢上免角高値の方に附隨せんさせるもの、如し

●内地小麥軟弱 麥安

前報再び軟調に傾きし小麥は當業者らしからざるに米價の不勢も伴ひ氣配續いて軟弱なるが殊に先物は麥類輸入税の撤廢の盛んなる折柄さて人氣次第に下向し最近二三月四升四合見當も引殘み目先殺いて下押さん風情也されご現物は盤家迪に地方商人の態度強硬の掛合なるより氣配軟弱乍ら四斤二合五勺見當持合ひなり麥安は米價不勢の形勢にて一二十錢方小甘き成行を示せしも何分當の場の荷持筋依然強硬なるより差持合狀態なり大麥は賣行尙捗々しからざるに在荷も潤澤の事とて氣配軟かなり

●錫は反撥 一躍二十五圓方の反撥を報ず 棒下げ演せし

錫は近來本船相場の如何に拘はらず本市場に於て在荷豐富さ休戰影響にて漸落を重ね去る九月の高値二百五十圓より最近百七十圓迄棒下げを演ぜしが昨今に至り漸く下げ過ぎ反動を喚び内地市場は一躍二十五圓方の反撥を報じたり是れ休戰後に於ける思惑筋の結果なるものゝ如く當地としては未だ左程の影響なしと雖も氣配の硬化を促がし來れり併し大勢氣直りさ見るべき材料あるにあらずして此間一時的の策ありさ認めらるゝ節なきにあらざれば向夢只混沌さいふの外なきなり

●肉ケル暴落 更に氣崩模様 三百十圓を唱ふ

本品は米國に於て戰時禁製品として輸入減少せられし以來之が輸入減少の結果市價の昂騰を促進し本年八月頃には三百八十圓迄暴騰せしが其後平和條約へに人氣一轉他の金物類と同一歩調を辿り本月に入り三百三十圓に下り一時小康の成行きさなりしも本國の解禁により更に氣崩模様を呈し昨今市中値三百十圓を唱ふるに至れり此際尙内地相場より目下の割高の鑑ある爲め眼先一段の下押しは免かれ難かるべし

下關場相

▲朝鮮米(小動) 白米三百八十六以上廻著に過ぎざりしが前場は期米高の刺撃を享けたるもの、か聯好を嗔へたるも出來の高め一般賣控へにある爲め需口の外見送れるより目立ちたる手先小動き勝ちなり

各地商況

◎木浦米況 二十三日 ▲玄米(保ひ) 大阪定期高に拘はらず相變らず注文無しの取引行はれず當地移出筋も年末切迫にて動かず相場筋も見送りの氣配にて保合三十四圓五六十錢見當なり▲籾(不變) 時化後にい廻着未だ値かに百俵相場變らず八圓九十錢處保合

▲大邱大豆 二十一圓三十錢 ▲同 二十一圓 ▲慶山大豆 ▲清川大豆 ▲元山大豆 ▲肥料の成行 近海鰊搾は百十五本の廻著ありたるが魚肥は栃木方面より只取注文を齎し居れるも何分入荷減少の事とて手持筋全部共氣配強硬にて入荷しの為め仕切値は上伸の氣勢あり出品何分各肥さも昂々寄行きありたるが大豆粕は産地高の報に出來を見ず朝鮮カナギ千賀四百本の四國にも朝鮮の產物の漁ぐ為め漁ぬ氣配乏しくも十本荒巻鰊廿六圓商に前日の雨天續きにて廻著なく市況閑散にて持合ひ

▲年末慶東の商況 ▲小豆二百俵 入津あり市況の變らざるより商勢不相變手堅く北海道新中長鶉九十三俵の入津あり…

釜山物産市場 二十四日

▲玄米狂騰 出廻りは依然昨今時期たるさ愈々年末さなれるに拘て前年の好況を呈しつゝあり昨夕締切の如きも一萬餘の多數を示したる前日來の廻着品も加はる筈にて今朝市場賈物の如きは至つて潤澤なりし諸況は右の如く先きも尙は未だ増加の趨勢も而も市に殊に賣かさる筈にて米主側の賃氣も差して強かならず成行きに任せたるも例の如く賣出しの當用筋も前日來一齊に買進みし後さて差して急ぎ云ふ風情もなく只だ必需止むを得ざる所入手の餘地さして始めの程は格別のみなる筈にて始めの程は格別に拘らず…

京城正米市場

内地相場の地場勘買ある上今朝けの商合みさなれり本日は人氣更に定期の高値を見越し買人氣ありて玄米千二百以下最近五十錢最低三十圓五十錢の出來にて前日来米に約一二十錢方の引締まり勝ちなり先小引き勝ちなり

▲古米は昨今に至りては最早時期も晴期の事さてもなく一向に見送り出し相場は更に一時に沸騰して相場作成運動を中止し居たる彼の前日昌行動を開始して頗り浮勢に人氣一時に沸騰し居たる際なれば五十錢方の狂騰の商況を呈し出來せず三千三百俵程の市内出來に至りては一向に見送り出廻りし為めにも更に商内見合模様あるも相場は何分商内出來ざる爲めに一向見當立たず

仁川正米

正米品薄にて地揚玄米三十四圓五十錢より三十三圓七十錢見當なるも賣方見送りの姿なり

積入津多きも精米商の買進みん氣强く八錢七八厘見當を唱へ居れり

生魚市場

◎京城日丸市場 二十四日 ▲値生魚依然高し 荷潤…

仁川期米

二十五日前場 (昂騰頭打)

▲第一節 大阪の氣迷ひ相場 各地入電未著なるも前日の反騰勢を見越して寄付は三十三圓九十錢高に三十一錢を移して買戻し當地正米高なるは中三十一錢なり

寄付三十一圓十錢

▲第二節 中出來不申先八十五錢より九十錢の小戻りを見せ八十三錢ご返り八錢七錢にて採合ひ六錢引

勝三十一圓丁度

▲第三節 大阪寄先三十七圓九十四錢二節三十八圓十一錢三節十錢の高市にて又々人氣沸騰 三十一圓丁度

十錢方反撥

▲第四節 中出來不申先○六錢より賣物多くザラ〳〵ご安の三十錢さ押し六七錢を提城裡に六錢

市場雜觀

昨前場の大阪一節中限三十七圓九十九錢先三十七圓九十九錢二節四十九錢五節三十三錢二節四十錢五節四十一錢…

期米賣買之栞 無料進呈 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町二丁目 電話長三八番

●何に轉化

正に不の如し

▲昨前の不勢の折柄大阪止め三十七圓五十錢さの高電に、人氣一變し立會は先三十一圓六十五錢と二十錢高に寄付しも賣物多く六十錢と下押せしが押目は固たるも戻り著に買物に七十錢さの商物現れ再び六十錢と押し又六十七錢さ返し六錢さ一高一低に打止めしが市況は尙見越の買物多く手揃ひ丈け出納會ならんさ觀測せらるも今晩ご休會は自然さなり

籾 思惑者

▲本日の正米出廻り盛況にて初期に於て輸送情態の如何に依りては出廻りの多さも思惑の要に有らずや…

▲今朝天候益天各地入電未著なるが前日大阪の丈氣さ當地正米高を移して寄付は先三十一圓六十錢高に寄付き…

仁川取引所

廿五日の二月限

値唱思の賣物多きは利喰急ぎ

	前場	
寄付	三十一圓九十錢	
高値	三十一圓九十三錢	
止め	三十一圓八十錢	

平均値段		
一節	三十一圓九十四錢	
二節	三十一圓八十七錢	
三節	三十一圓メ 七錢	
四節	三十一圓丁度	
五節	三十一圓九十錢	

北濱たより

▲鐘紡株 一時軟調を呈したる

鐘紡株は一時軟調を呈したるも今日は氣勢を回復して高潮を呈するに至りたるのみか今期の業績は彼が如くにして配當は前期同率に止めたるは次期以後の配當の激減を避くるにありさ云へば次期も尙は相當の配當を持續し得べしとせば鐘紡の如きは最も堅實なる放資物なれば安値に拾はんさの有力筋もあり…

▲南滿新株 廢止配當

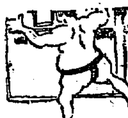
當局は制限撤廢さいふ事が毎年の論議に起る問題にて今日南滿の…

卅六番角力

毛谷村六助

一百席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

藤堂與右衛門高虎は喜んだ甲斐もなく主家は絶滅いたした故身の不性から、秀長公の秀俊公の菩提を吊ふ爲に高野へ登つて出家して朝夕念佛を唱へて回向をいたして居りまする、之を聞いて折合孫作は氣の毒に思ひ、早速高野山へ參つて與右衛門に面會いたし、拙者と同道して紀州大津へ參られよ、京極家へ推擧いたさう、さなくば五千石の食祿を二ツに分て貴公に一部を進ぜう拙者と同道いたされよ」と勸めましたが與右衛門は堅く辭して孫作を歸す、秀吉公は與右衛門が高野に登つて秀長父子の菩提を吊ひ居ると聞いて其の義を感じて脇坂甚内安次を以て召戻し、伊豫大洲に於て三萬石を下されました、與右衛門は和泉守と任官して一城の主となりました、すると或日大洲城の表門へ參りました一人の男、番太に挑した木刀を腰に挿込み、此を吾が門番は申す御門は城内へ入つて此處へ通る〇コレ何處へ通る〇コレ通つても仔細無いのだ、藤堂與右衛門に會ひたいのだ、怒ういふ者が來たと取次いでくんなさい〇門番は藤堂與右衛門とは誰れたと思つたか、此の門は御殿の殿守、藤堂與右衛門は和泉守と仰ぎ御任官なされて常時御城のお殿様だ〇何んでもいいから取次ぎなさい、折合孫作といふ者が來たさ云つてくれ』と申入れるさ、此の門番も氣狂ひかと思つたが重役へ申上げる、重役は由を申上げる、與右衛門の聞いて高虎自身が玄關先へ出迎へ「オー折合であつたか、能く來てくれた、先づ此方へ』孫「イヤ俺は上らない、前年東海道宮の宿にて御身さ別れる時に約束をいたしたが、御身が一城の主になれば拙者が馬の口取りをいたす、若しなれぬ時は貴公が拙者の御身の主になると云ふ約束だのもの、折合孫作に馬の口取りをさせる譯にはならぬ、一萬石を分け與へるによつて當城にあつて拙者の相談相手となつてくれ」さ云ふを孫作は辭退して五千石を申し受け戰場へ出る時には馬の口を取りまするが、平素は藤堂家の家臣となつて高虎の相談相手となつて居りました、孫右衛門は秀吉公の御意にも叶ひ追々加増して十五萬石を領する身分となつた、後關ヶ原、戰ひには德家に味方して戰功を立てましたので此の功によつて勢州津及び伊賀の上野兩城兼帶で三十五萬石を領して藤堂和泉守高虎となる、或年江戸表より國の折東海道宮の宿の本陣井上八太夫方へ泊りましたが藤堂高虎は前年の事を思ひ出し、主八太夫を呼出しました、八太夫は恐る〳〵藤堂侯の御前へ出る、高虎が見るさ、第う三十二歳の男であります故『與「予が二十年の昔當家へ泊つた事があるが其の節の八太夫さは年が違うて居る』八「それは私の父でございます、當時隱居いたして元蹟と申して居りまする』乃で其の元蹟を呼出して見ると、最早八十餘りになつて居ります、高虎は元蹟に對ひ前年の禮を述て永代百石の扶持を遣はしました、是は後のお話でございますが



▲東省實業總會

東省實業會社は豫定の通り二十二日午後二時東拓支店樓上に於て第一回定時株主總會を開催し第一期營業報告書、財產目錄、貸借對照表、損益計算書の件、利益金分配に關する件承認の件、附議し原案通り年八分の配當を可決し臨時總會を引續き開會し社債金七十五萬圓發行に關する件を附議したるが其の發行の時期方法に就社債金は來期會社の活動に資する爲め發行するものにして一般には募集せず或は特殊會社一個に於て引受けを擬當せしむるやも知れずさ

▲東拓の招待會 東洋拓殖會社奉天支店にては豫定の通り二十二日午後五時より十間房金城館に於て創立十周年記念招待會を開催したるが八十餘名の來會者あり吉野支

をなすに至るべきかなれご配當率を營業者多數を占むれば年八分の配當をなして優に餘力ありさ因に同社來期の成績は大に刮目に價すべきものあるべし

◎奉天通信

▲奉天銀行成績 去る廿日を以て營業せる奉天銀行開業當日の成績を聞くに預金約廿萬圓貸出金約十八萬餘圓に達し極めて盛況也さ

▲滿洲農工總會 滿洲農工株式會社にては二十一日午後二時より同社内に於て第一同株主定時總會を開催の筈なるが同社は去る七月中の創立にて開業日尙淺きにも拘らず約五千圓の純益を見たるが目下の形勢によれば一部には年八分位の配當を望むものもあれど或は會社の基礎を重んずる上より無配當

◎公州金融組合

公州金融組合定款は襄に設立總會に於て附議決定し居たるが役員の選定は大塚郡守の指名に依り評議員五名を擧げ(川崎平太郎、丸山虎之助、外山喜右衛門、徐漢卿、成晉永)右委員協議の結果組合長以下の如く選定し愈其成立を見るに至れり

(組合長)金甲淳(理事)小森義一(監事)岸田勝三郎、同野崎朝吉、同成晉永

店長の挨拶に對し赤塚總領事の謝辭あり盛會裡に同九時頃散會せり

十二月廿七日

舊十一月廿五日▲戊申▲九紫▲暗劍殺▲なる▲鬼

▲九紫 注意すべき日、西は吉、南は凶、うかと乘だす時は損の行く日
▲一白 仕事の口なる日、舞ひ込む日にて一日に二黑 悲喜、飛込み日にて一日に
▲三碧 賑やかなる日にて何かと面白き日なり
▲四綠 和合なるも何かさ運んで吉なる日
▲五黃 幸ひの舞ひ込む日にて或ひは小のあるべき日なり、よろづ運んで吉
▲六白 上ほ、意外の引立を受くるやも知れず
▲七赤 手を出すさ却て損の行く日
▲八白 どうも香ばしからざる日なれど或ひは思ひ設けぬ事にてよろこびあるやも知れず、何にしろ好い日也

陸軍御用 ツ 各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 萬一藥店に品切の節は本店へ御注文願上候 人參エキス 朝鮮京城本町 津村兄弟商會 電話八〇四一番 電話七〇八一番 振替京城三一一五番 電略(ツ)又はツムラ

外科 皮膚科 瀨戶醫院 京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話四九八二番 (診察夜九時迄) 醫學士 瀨戶潔

醇良無双清酒 衛生無害品質無双 發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番 釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四四番

眼科專門 入院隨意 京城明治町東拓橫(電話二〇四四番) 江頭眼科醫院 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

摸造品續出乞御注意 オキシパサー 本器は科學界の泰斗マイケルフアラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用して使用者に治病力を與ふ 感じ易き患部の酸素を以て治療を促す… 定價金參拾九圓 特約販賣 京城太平通電話六〇〇九番 正價金參拾九圓 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

京城西小門町二二番地 田中丸病院 院長 醫學士 田中丸治平 副院長 醫師 上野和夫 電話八八五番 (入院隨意) 普通病室隔離病室の設備あり

最上醤油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

最新刊 白鳥の魔術 高野辰之 六〇 六 戯曲作法 小山内薫 六〇 六 日本結髪史 稲葉小千著 一八〇 一二 荷風全集 第一卷 一八〇 一二 雨月集 一二〇 八 泉聲錄 大町桂月著 一四〇 一〇 英和對照日本商業地圖 輛製五圓 折圖四圓 送料十二錢 朝鮮總督府學務局 滿蒙週覽 中編 七〇 送料十八錢 年末 商品券、各種日記 萬年筆及附屬品 伽羅木 小倉百人一首かるた 御贈答品 京城本町一丁目 大阪屋號 電話六四番 振替京城二五七三番

尼崎汽船出帆 仁川

下關大阪直行 君が代丸 十二月十七日後四時出 大有丸 十二月十八日後四時出 ▲山下ノ關、大阪行 神代丸 十二月二十日後四時出 仁川海岸通二丁目(電話五九番) 高杉回漕部

五光商會汽船出帆廣告

◎第三元山丸 元山、西湖、城津、清津行 十二月廿三日釜山出 ◎第三松丸 門司、宇品、神戶、大阪行 十二月廿三日元山出 第三千丸 十二月廿一日釜山出 釜山大池回漕部 電話二二三

共同汽船出帆 仁川

大連直行(關東都督府命令船) 共同丸 十二月廿七日後港入 一月廿日正午出 大連にて南滿洲鐵道主要驛に直通荷物連絡取扱ひ 仁川代理店 野口商會 電話一七三番 元山代理店 田口回漕部 京城代理店 …

朝鮮郵船出帆

▲雄基行 十二月廿六日 清津、城津、元山、釜山經由 ▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由 ▲敦賀行 清津、城津、元山、釜山經由 平安丸 十二月一日 元山發 越後丸 十二月 日 釜山發 ▲山陽丸 十二月廿六日 釜山發 忠清丸 十二月廿八日 元山發 ▲大阪行 釜山、門司、神戶經由 城後丸 十二月三十日 元山發 ▲元山雄基線 元山起點各港經由 穩城丸 十二月 日 元山發 ▲關門行 雄基發、清津、城津、元山、釜山、江原道不定 ×京畿丸 十二月廿五日 元山發 ×京城丸 十二月廿八日 釜山發 佛華丸 十二月卅一日 元山發 ▲金剛山遊覧便 元山發清石亭經由 ▲濟州島行 釜山發 ▲木浦鬱陵線 ▲木浦麗水線 ▲多島海行 ▲木浦行 ▲海州行 ▲鎭南浦行 ▲大連、青島行 本社 京城南大門通 電話長二九五一二 支店 釜山、元山、仁川、木浦、京城 其他各寄港地に荷客取扱店

日本郵船出帆

▲大連、秦皇島行 一月三日朝出帆 酒田丸 ▲ヨーリ早發スル 相模丸 十一月十三日正午出帆 都合丸 十二月廿六日正午出帆 高砂丸 仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀回漕部

大阪商船出帆 仁川

▲神戶大阪行 ×安東丸 十二月 日 正午出 ×木浦大阪行 信濃川丸 十二月 日 正午出 (元山出帆) ▲西湖津、新浦、城津、清津行 宮島丸 十二月卅一日後十二時 ▲釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 十二月廿五日後九時出 (大連出帆) ▲上海、基隆、打狗行 湖北丸 十二月 日前六時 基隆丸 一月二日後六時出 ▲內地各港出帆主要航路 ▲歐洲行 一年四回 北米行 每月 ▲南米行 一年四回 孟買行 每月 ▲濠洲行 每月一回 南洋行 每月一回 御注意 ◉外國航路乘船切符は… 大阪商船株式會社京城出張所 電話二二〇 仁川支店 電話七〇八

京城日報　第五版

……糧食供給に就き聯合側が成る可く速かに盡力し國境港灣內に在る何等外國貿易品なく何等生產の……るべき事となるべきも四箇年以上に亘……

京城日報
食料問題
移民問題と鮮滿墾拓

一

食料問題解決に就き、原首相に成竹ありと傳へらるゝも、吾人は未だ其の一斑だも知るを得ざるを遺憾とす。即今世論の向ふ所を察するに、一般に山本農相が無爲政策、即ち成行任せの主義を非難し、何等か積極的の活動を希望せざるはなし。即ち其の二三を擧ぐれば外米輸入に關し、單に關稅を撤廢するも、其の効力の見るべきものなきを以て、輸出管理令を利用し其輸入を敏活に增加すること（一）鐵道院と協力し、米の需給の均衡を得せしむること（二）雜穀の輸入關稅を撤廢し、米の代用品を增進にすること（三）取引所に於ける代用米の範圍を擴張すること（四）酒造米及び菓子製造米を制限し、米の食用外消費を制限すること（五）一定の無米日を設け、各戶をして之を實行せしむること（六）其他許多の方策を提案するものあり。之れ等も、今悉く之を擧ぐるの煩に堪へず。

二

元來食料問題は、人口の增加に伴ひ必然起るべきの問題にして固より昨今に勃發したるものにあらず。然るに米の供給の著しく不足を告げ、昨年來俄然として暴騰を致したるは、要するに戰爭の影響に依り、我下級社會が從來の代食品を廢し、一般に米食を取るに至りたるの結果なるが故に、戰爭既に終結し、下級社會に撒布せらるべき金錢の減縮するに從ひ、次第々々に元の代用品に復歸すべきは明白なる所なれば、今日機に食料缺乏して、國民皆飢餓に瀕すべしと悲觀するは大早計なり。而も一旦米食に慣れたる者の急に粗食に逆戾りするは至難なるのみならず、年々七十萬の人口增加に應ずるの食料は、到底狹き日本內地に於いて供給しきれざるは勿論なれば、此際永遠の長策を建て、此の至難なる問題を根本的に解決し遲くは極めて必要なりとす。即ち前擧の諸方策の如きは、可は則ち可ならざるにあらずと雖も、要するに眼前應急策たるに過ぎず。吾人の見る所を以てするに、我が國家民人の將來に對し、更に切要なるものなくんばあらず。即ち目下講和問題の一條件たる移民問題の解決、及び鮮滿地方に於ける墾田事業是なり。

三

我人口の附加は、世界中獨逸を除くの外、實に無比の狀態に在るが故に、早晚國內にのみ收容し得ざるに至るべきことは、數十年前より豫期せられたる所なるが、米國及び英領諸植民地に於ける移民の禁止は、我人口の吐き出しに向つて一大頓挫を與へ、狹き天地の間に蟄居せざるべからざるの狀態と爲し、此まゝに經過せば我同胞は畢竟共食に斃れざるを得ざるに陷らしめたり。今回の講和會議に於いて、此の不公平なる待遇を改めしめ、我が同胞發展の前途を洞開するは、啻に國家の一面を淨くするのみならず、實に我が民族の生存永續を保障する所以たらずんばあらず。若夫此の問題にして解決せらるゝなく、國際聯盟又は軍備制限等に因りて、徒らに拘束を被る如きあらば、吾人同胞は鐵柵の裡に押籠め、食はずして死せよといふに外ならざればなり。

四

我が民族が海を踰ねて大陸發展の途を求めたるは、是亦要するに辛うじて一個の吐口を見出し、生存の安全を圖りたるに過ぎず。然れども爾來年を閱する十五年、未だ大いに發展を遂ぐる能はざるは、氣候の關係、並に此の方面に於ける土著民族との競爭上、頗る不利なる事情あるを以てなり。然れども今やさる除障を並べ得る時機にあらず、吾人は如何にしても當つて當初の目的を貫徹せざるを得ず。現に朝鮮の如き、耕地の耕すべきもの頗る多く、少くとも七八百萬の新人口を收容するに足るべく、滿洲に至りては其の廣漠たる面積に千萬二千萬の人を配布するも、猶ほ曠漠の餘地少なるに諾むべし。政府は何が故に目前の應急策にのみ汲々し、此の收容力あり生產力ある廢土に向つて施設する所なきや。是吾人の甚だ不審に感ずる所なり。若夫政府にして米價調節の爲に使用する金額を以て、鮮滿墾拓の業に從事せば、期年ならずして相應の結果を得るや相違なし。吾人は今價はしき統計を擧げて之を論ずるを避くるも、政府當局殊に世界的に向つて、其の奮起を望むや切なり。

列強對支那經濟發展（十二）

▽英の鐵道利權（續）

更に英國は揚子江流域の鐵道敷設利權を自己の手中に確保すべく活動を繼續し遂に千八百九十九年京奉線及び京漢線に關する露國との紛爭を解決し彼の有名なる英露協約を締結するに至りぬ此協約に依りて英國は長城以北を以て全然露國の鐵道敷設區域として承認し揚子江流域を以て自國の敷設區域たらしめ之を承認せしめたるものなるが之なり

▲外交の成功 にして兎も角斯くして志しを中原に懸けたる露をして之を北隅に封じ込みたるの是より英國の活動は一層目覺しく着々として新利權の獲得に成功したり即ち千九百三年には滬寧鐵道の敷設權を得千九百九年には滬杭甬鐵道の借款契約を締結し次で獨逸が山東鐵道の敷設權を獲得するに至るや之が對抗策として直ちに津浦鐵道の敷設權を掌握するに至りたるが後千八百九十九年獨逸と合同して之れを南北に分ち其北段を獨逸に分割するに決し支那政府との間に借款契約を協定したりしが而して千九百十一年には米佛獨と協同して

▲粤川漢鐵道 の敷設權を目的とする所謂四國借款を成立せしむるに至りぬ是より先き即ち四國借款契約の調印前即ち千九百十一年五月支那政府は全國幹線鐵道國有の上諭を發布し川漢鐵道宜州、成都間七百三十哩も亦國有とするに決したるが之れ四國借款には關係なし而して該上諭は端なく[illegible]の動機となり延いて武漢革命の導火線となりたるは世人の熟記に存する所なるべし斯くて粤川漢鐵道は英、米、獨、佛の四國借款に依り起工するに決したるも辛亥革命の爲め兵火は西域に普く一時之を中止するに至りたるなり中華民國の成立と共に再び工事を開始するの段に進みたるが

▲歐洲大戰亂 は更に再び之を中止するの狀態に立至れり想ふに革命後の支那は秩序全く紊亂して收拾すべからざるものあり殊に財政の困憊は其極に達し支那政府は通常政費の支辨をも爲す能はざる狀態に至りたれば有利なる利權を抵當として外國の資本を輸入し一時を彌縫せざるを得ざるの運命に逢着したるを以て忽ち列國の覬覦を速き其結果は所謂勢力範圍政策を以て利權獲得の大運動を復活せしめ茲に鐵道利權の爭奪戰は再び日淸戰後にも比すべき形勢を呈するに至れり此機運に乘じて先驅の功名を成したるものは實に例の英國にして白耳義

▲財團の假面 の下に滬蘭同成の二大鐵道借款を獲得したるが這般の事情は既に詳述したるを以て茲に省略すべし當時支那政府は革命の善後借款をば例の五國財團に一任したるが故に五國財團は各本國政府の後援に依り殆ど對支借款は此五國財團にて獨占するの傾向を示したり然るに財團に於て總ての利權を壟斷するは英國の利とする所にあらざるを以て百方考慮の結果、英國は五國財團より經濟借款を分離すべしとの提議を起したり之れ英國が五國財團の羈絆を脫して此提議を各國に承認せしめて成功を博するや

▲手腕を揮ひ て長江流域に於ける幾多の重要線路を獲得するに至りぬ即ち浦信鐵道借款、廣九鐵道借款、沙興鐵道借款、寧湘鐵道借款等は何れも英國の獲得に歸したる所の如く英國は長江流域に列國勢力の侵入するを防止すると共に自國勢力の確保に汲々たりしが是より更に大に飛躍せんとするに際し端なくも歐洲戰亂の勃發に會して餘儀なく一頓挫を來すに至れり英國が長江流域を勢力範圍なりと揚言して其勢力を確保せんが爲めに鐵道利權を獲得したる事情は實に此の如し而して英國の此方面に對する鐵道政策如何（英國對支鐵道政策）

基金撤廢早計
高橋藏相談

來年度豫算案に對し世間動もすれば政府が餘り無きに藉口して國運の發展に伴なふべき施設を九年度に讓りたるは不緊縮を有する政黨內閣として

▽無責任也 と非難するものあるが素より政黨として平日政務の調査考究に從ひ政治經濟各般の施設に對し諸種の希望意見を有すれども實際局に當るにあらざれば施設の方針を確立し得るものではない、即ち局に當りて始めて實狀を究明し事の緩急輕重を酌量し適宜しきを誤らざる樣此に各般の施設に對する確定的方針を立て得らるべきものであつて何人が局に當らしむるも恐らく同樣の順序を踏むことと思ふ政府の租稅及び官業收入に對する自然增加の見積り額を多きとなし果して此の如く每期の增收を見るべきかを危むものあるも年經濟觀したものでは無い又來年度の公債募集が巨額に上れりとして是亦能く後期の好成績を收め得らるゝや否やを疑ふるものあるが今や戰時の反動期に入り

▽一般財界 の安定を保ち易からざる聯合財政の料理宜しきを失せざらは洵に容易の業なりと言ふ可らざるも當局者としては愼重に考慮を拂ひ適當なる方法を講じ好成績を收めんことを覺悟して居るので而して又此際減債基金制度の存廢につき云爲するものあるが本問題の如きは單に一時の現象にのみ見て直ちに決せらるべきものでは無い若し本制度を撤廢すること假定せんか本制度により償却せんとする公債は外國に於て借換の手段に出づる乎但しは內國債を以て之を償還するの方法を採る乎二者孰れか其一を選ぶの外無かるべきが假て借換の手段に出づるとして今日或は是を行ふに難からずとするも或る期間果して何時にても確實に是を遂行し得る見込ありや否や確實に其見込の付かざるに

▽一に借款 手段に依らんとするは言ふ迄もなく不可である第二の內國債を以て償還に充つるは一方法たるに相違無きも此方法を採る時は長期の內國債を起すの必要あるが我國の狀態に在りては短期の募債は起し易しとするも長期の募債は困難である安定なる財界の現狀に於て且つ又支那南北の妥協成り統一の行はれたる上は今後更に支那に貸出するの必要起るべきを想像せらるゝ今日目前一時の現象にのみ見て將來に亘る基金制度の撤廢を說くは些か早計に失するものなりと考へる（東京）

獨逸主權移動
（紐育特派電）

柏林に開催中なる全國勞兵大會は十七日獨國大會に關する決議を爲したるが翌十八日の會議に於ける其筋の情報に據れば勞兵會其もの、行權は全然國民委員（即ち現政府閣員エーベルト及びハーゼ等）の權能に屬せられ政治上の直接監督權並に實行權は現政府の掌握する所となり勞兵會は別に委員を選任して之れが現政府の上に位置せしめ而委員會は閣員の任免權を有することに決議せられたり然れども右組織に依れば實權は全然勞兵會を離れ彼等は單に空名を擁せるに過ぎざる事となれるを以て現政府と急進派の連結に破綻を生じ勞兵會內過激派の乘ずべき機會あるに至れり故に若し政府の變化を圖り漸きも現在に於ては政府側依然小康を保持し十八日以後も勞兵大會は尙ほ繼續せられつゝある模樣なりと

本年貿易回顧
輸出入共伸展

本年の外國貿易は輸出入總額に於て昨年よりも著しく膨脹を來したれど輸出超過額は矢張り昨年の半額にも達せざる程度に縮少せり

▽出超額の減少

即ち之を數字に徵するに如左（單位千圓）

種別	大正七年	大正六年
輸出	[illegible]	[illegible]
輸入	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
出超	[illegible]	[illegible]

備考　大正七年は十二月中旬迄の分とす

即ち先づ貿易の總額を昨年と比較するに約八億六千萬圓にて此割合三割二分を增加して其膨脹を物語れども一度輸出入に分ちて昨年と比較するに於ては輸出は約二億六七百萬圓、此割合一割六分を增加したるに對し輸入は實に約五億六千二百萬圓、此割合五割六分を增加して輸出の發展は輸入の伸張に及ばざるものあり隨つて輸出超過は昨年より却つて約三億千四百萬圓を減少するの已む無き結果を招致せり

▽貿易內容比較

今試みに之を輸出入貿易品の種類別に依り其伸展の跡を檢すべく本年十一月末に至る各種類別の輸出入額を昨年一箇年間の同輸出入額と對照すると左の如し（單位千圓）

▽輸出

種別	大正七年（十一月迄）	大正六年（全年分）
粗生食料品	[illegible]	[illegible]
製造食料品	[illegible]	[illegible]
原料品	[illegible]	[illegible]
原料用製品	[illegible]	[illegible]
全製品	[illegible]	[illegible]
其他雜品	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

▽輸入

種別	大正七年（十一月迄）	大正六年（全年分）
粗生食料品	[illegible]	[illegible]
製造食料品	[illegible]	[illegible]
原料品	[illegible]	[illegible]
原料用製品	[illegible]	[illegible]
全製品	[illegible]	[illegible]
其他雜品	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

即ち輸出に於ては粗生食料品、製造食料品及び原料品の增減差して大ならざるも原料用製品は著しく增加し全製品は大に增加せるを見る少し全製品は大に增加せるは主として原料用製品の減少せるは主として硫黃、樟腦、薄荷腦、銅（約五千萬圓減）亞鉛（約千萬圓減）眞田等の輸出不振の結果にして全製品の增加せるは綿布（約千五百萬圓增）綿織物（約八千萬圓增）、紙類等の輸出旺盛を極めたるに職由せり又輸入に在りては各種類共に著しく增加せるも就中粗生食料品中の米（約七十萬圓增）、豆類（約千萬圓增）、製造食料品の砂糖（約千七百萬圓增）、原料品中の油糟（約三千萬圓增）、棉花（約一億三千萬圓增）、原料用製品中のコールタール染料、鐵類（約七千萬圓增）、錫類、全製品中の毛織物、紙類、機械類の增加に助勢せられたるの情あり

▽出入洲別比較

更に之を出入洲別に就き之を觀察するに本年の洲別輸出入額は未だ十月末の發表されたるに過ぎざるを以て之に比較するを得ざるも大體に於て對南洋貿易、對南米貿易等殊に目立ちて發展せるを知り得可し即ち左の如し（單位千圓）

洲別		大正七年（十月迄）	大正六年（全年分）
亞細亞	輸出	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]
歐羅巴	輸出	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]
北米	輸出	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]
南米	輸出	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]
阿弗利加	輸出	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]
濠洲其他	輸出	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]

冬曉所見　成田　魯石

數縷炊煙抹曉晨。樹梢何處聞鷄聲。且拾薪。傍他一甕汲泉女。霜逕呼奄頻。學鷗曰、足補朝鮮風俗誌。

京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
定價　一箇月六十錢（前金）　廣告料　五號活字一行金一圓五十錢

◎買切れぬうちに
收入增加號
婦人家庭雜誌新年特別號本日出來
◎一刻も早く書店へ

女學校に經濟科を設けよ…法學博士　天野爲之
十二支病と牛乳檢療…醫學博士　太田
素人に出來る…醫學博士
收入增加
主婦の…
科學的…
夢…
廿…
婦人の副收入…
實例…
主婦…
壹萬圓
故鄕へ沈む日　野村愛生
傷める葦　沖岩三郎
見ぬ親の仇　梨花
大阪の絆
人生哀話
山田夫人
女子…夫婦

＝局面急轉の光＝
商勝無慮六百丁而も押目らしき押目を作らず實に是れ期米界空前の異例に屬す＝暴＝騰の半面に反落ある需物價の常軌たり、況や四十圓に近き新米時の米價に於てをや機は將に熟して刻々吾人の期待に接近しつゝ現に其一端を露せり＝爰に第十二回を組織し新春劈頭の成果を收めんとす、同士須く起て此壯擧を賛せよ
圓申込期間　大正八年一月十日迄　圓加入金一口參拾圓（債券代用不苦）
日本信託證券部
＝第十二回期米賣同氣會＝
大阪市北區堂島濱一丁目二三二　電話長北一二二二　振替大阪四〇五九
▲會則內容說明書贈呈▼

第一卷　理科物語　蜂の王國
第二卷　理科物語　地球の怒
第三卷　理科物語　植物の不思議
第四卷　理科物語　白鳩號

少年少女の美しき空想界に煌乎として耀く理科智識の光明！多くの作家の嘗て成し得ざりし智育美育兩面の効果を收めたる新讀物の發行、是れ偏に新時代の要求に依るもの兒童讀物研究會最初の誇るべき事業として世の愛兒の父母たり保護者たる諸賢に此叢書の試讀を薦む尙ほ本叢書全二十四卷の責任者たる兒童讀物研究會は東京高等師範同女子高等師範兩校十一名（氏名略）の諸先生の熱心なる賛助指導の下に成立したるものなる事を此に併せて御披露す

蜂に乘つた英太郞の國見物、蜂の王國の空中戰爭に歸り死。
夜半の大海嘯流れ愛る家に救ふ乳の少女、愛兒を救ひ父…
飛行機を使ふ植物の自然の法…
少年飛行家の大成功、出發せる機の苦心譚…

以上四卷同時新刊◎各冊上製特記金文字表紙四彩色口繪寫眞版圖解挿畫數葉挿入◎各冊五十錢郵稅四錢年末年始贈答品好適品
◆第五卷以下豫告◆海の怪物（第五卷）體內旅行（第六卷）空の星（第七卷）日本丸（第八卷）

兒童讀物研究會編輯　東京京橋區南紺町一五十二　大阪南區三休橋際
發行　株式會社　大鐙閣　振替東京三三六一八　大阪二七一五五

主要營業部門
自動車部
建築材料部
機械部
雜貨部

今般左記會社を設立致し藤原商店並に三洋社の業務を繼承し一般輸入商業の外特に自動車の輸入製造販賣を相營候間倍舊の御引立を願上候

取締役會長　若尾璋八　取締役　橋本信次郎
專務取締役　藤原俊雄　同　池田寅治郎
常務取締役　加納万次郎　同　林五郎
同　森一兵　監査役　金子元三郎
同　町田豐千代
同　淺田正吉

東京市麴町區有樂町一丁目五番地
資本金四百萬圓
十二月二日創立
內外興業株式會社
電話本局（長）二一七・三一八・四八一・四五二・四六
朝鮮京城黃金町二丁目　電話一八九・一五四三
自動車部營業所　東京麴町區內幸町一ノ六　電話新橋一六二・二六二〇五
支社　大阪市北區堂島中二丁目　電北四八一
　滿洲大連伊勢町九號地　電六〇二
出張所　神戶市北長狹通四丁目　電三ノ宮一二五二
　門司市內濱町一丁目　電九八三

歲暮御贈答最適品は
嶋屋特製
都な漬ら
守口　西瓜　胡瓜　白瓜
四種詰合に限る!!!
定價表　壹圓　壹圓五十錢　貳圓　貳圓五十錢　參圓　參圓五十錢
市內各雜貨店にて販賣致します
御買上げの際嶋屋製に御注意を乞ふ
製造發賣元　嶋屋漬物部
京城北米倉町　電話九〇三番二三三〇番

◇議會召集詔書
二十六日官報にて公布されん

廿五日第四十一回帝國議會成立するや原首相は畏き邊に奏上したる結果廿七日を以て開會を命ぜらる可く詔書は廿六日官報にて左の通り公布さる可し（東京特電）

詔書

朕帝國憲法第七條及ヒ議院法第五條ニ依リ十二月廿七日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命ス

御名御璽

大正七年十二月二十五日

各大臣副署

◇開院式行幸仰出さる

二十五日宮內省告示を以て二十七日第四十一回帝國議會開院式御幸仰出さる旨公布ありたり（東京特電）

◇一千萬圓御下賜

高等教育機關擴張に就き御內帑金一千萬圓御下賜の旨首相へ御沙汰ありたり（二十五日午後九時五十分東京支局發至急電報午前〇時半着）

◇講和考究家觀測

華盛頓に在る講和問題考究家は佛首相クレマンソー氏がウイルソン氏に向ひ國際聯盟、軍備縮少の討議に入るに先だち講和問題の商議を開了せん事を求めたりと解せらるこの巴里電報を重視し若し佛首相の態度が此電報に傳ふるが如くんばウ氏の講和條約案に顚倒錯雜を生ずるを免れざる可しと觀測しつゝあり（紐育電報）

◇大統領選擧會議
獨政府前獨帝引渡不承知

獨首相エベルトは言明して曰く政府は和蘭が前獨帝を聯合國に引渡すことを希望せず尙獨逸共和國大統領選擧の爲め二十九日全獨會議を開く可しと（倫敦電報）

◇獨大統領候補者

獨逸共和國大統領候補者はエベルト及びボイズ博士の兩氏推されつゝあり（倫敦電報）

◇米船舶局解放船

米國船舶局が解放せる船舶中には日本船廿二隻も含めり（華盛頓電報）

◇露國過激派避難

露國過激派政府はニヂニノブゴロドに避難せんとて目下ペトログラードを引揚げつゝありと（紐育電報）

▲附記　ニヂニノブゴロドは莫斯科の北方ボルガ河と其支流オカとの合點に位し、盛大なる年市あり、晩夏の候百隻船舶輻輳し、轉茶、中亞細亞の綿、ロシアの羊毛、其他獸毛皮等取引盛んなり

◇御信任狀捧呈

小幡公使は常例として我　陛下の御信任狀捧呈の爲め徐總統を訪問す可し（北京特電）

◇租界讓渡と借款

北支那駐屯米軍司令官及び米國天津領事は廿三日黎元洪氏を訪問せるが右は舊獨國租界讓渡を條件として米支借款協議の爲めなりと尙黎氏は本件に名を入るゝを避けたりと（天津電報）

◇歌御會始役員任命

一月十八日歌御會始役員廿五日左の通り任命ありたり（東京廿五）

御歌所長子爵　入江爲守
讀者被仰付　侯爵　德川賴倫
讀師被仰付
讀師控被仰付　公爵　九條道實
講師被仰付　子爵　藤井行德
子爵　持明院基哲
發聲被仰付　子爵　大宮以季
子爵　滿岡長言
子爵　長谷信道
講頌被仰付（各通）　男爵　金子有卿

◇飛行將校の慘死

[illegible]

◇新令實施に就て
松浦專門學務局長談

[illegible]年の失敗者並に中學四年修了者等の合計約二萬を超ゆべきが如く受驗者數が多大となりたる結果として[illegible]るが如く噂へらる[illegible]明年度まで[illegible]は試驗の程度並に其他執行上に關し[illegible]法を講ぜらるべし又七年の高等學校[illegible]

下關期米特電

[illegible]

大阪期米

[illegible]

仁川期米

▲二十五日後場　大阪後寄未着なるも前場持合ひの機先にて先三十圓八十五[illegible]

仁川米豆取引所

二十五日の二月限
[illegible]

◆長谷川總督歸京
（向つて右）總督（中央）山縣政務總監（同左）宇都宮軍司令官　二十五日夜南大門驛にて

◇帝室制度審議會委員

廿五日左の通り辭令ありたり（東京特電）

法制局長官　横田千之助
帝室制度審議會委員被仰付
同上被免　有松英義

◇西園特使參內

西園寺侯は二十五日午前十一時五十五分參內拜謁仰付られ敍勳の御沙汰を言上せり（東京特電）

◇滿蒙毛織會社創立會

滿蒙毛織會社は廿五日午前十時より商業會議所に創立會を開き石塚東拓總裁を議長に推し創立事務に關する諸事項報告に次ぎ議事に入り定款一部變更を議決し尙左記役員選擧の上會社成立を遂げたり

取締役石塚英藏（社長）荒井泰治、茂木、兵衛、高橋虎太、前川孫一郎、中谷庄兵衛、孫百斗（專務）江藤豐二（專務）新內壬五　監査役島德藏、渡邊勝太郎、相生由太郎、木幡恭三

尙田豐治氏に相談役を委囑せる旨報告ありたり（東京特電）

◇內地米節約と雜穀管理
議會に提出か

政府は米價騰貴に鑑み內地米の消費節約方法として雜穀及び澱粉の混用制限を行ひ更に進んで雜穀の管理法を議會に提出せんとの議ありと傳へらる（東京特電）

◇四十一議會成立

▽貴族院

第四十一回帝國議會は廿五日召集されたり貴族院は　前八時十五分伊瀨知好成男を先頭に杉田定一氏を殿りに出席議員總數三百七名德川議長は同九時振鈴を合圖に書記官長以下を隨へ著席し議員席次を定め之より貴族院規則第五條に據り抽籤にて部屬を定め規則第九條に據り各部々長理事選擧の爲め一旦休憩同十時廿五分再開議長は選擧したる部長、理事の氏名を報告し政府及び衆議院に成立通牒す可しと宣し同十時卅分散會せり（東京特電）

第一部長德川圀順、理事江木千之▲第二部長[illegible]、理事[illegible]成信▲第三部長佐竹義春、理事青山幸宜▲第四部長德川賴[illegible]、理事武井守正▲第五部長[illegible]、理事[illegible]▲第六部長小澤武男、理事川[illegible]▲第七部長淺田德則、理事高木兼寬▲第八部長[illegible]、理事[illegible]▲第九部長細川護立、理事[illegible]

▽衆議院

衆議院は佐賀縣選出政友會議員南里琢一氏の午前八時二十七分を先頭に出席議員三百六名同十時十分大岡議長は書記官長を隨へ議長席に就き本日第四十一議會召集されたる旨を宣し書記官長をして議員の異動を報告せしめ次いで新議員を紹介したる後滿場拍手を以て新議員を迎へたり次に規則に據り抽籤にて部屬を定め同十時四十五分抽籤を行へるが議長は各自部室にて部長、理事の選擧を爲し議長に屆けられたしと告げて休憩斯くて決定せる部長、理事左の如し（東京特電）

第一部長押川方義（無）理事土屋清三郎（政友）▲第二部長[illegible]雄（政友）理事松田三德（新政）▲第三部長北田[illegible]（新政）理事土谷善八（政友）▲第四部長[illegible]郎（憲政）理事山道襄一（國民）▲第五部長犬養毅（國民）理事田中萬逸（憲政）▲第六部長柴四朗（憲政）理事林路[illegible]良（政友）▲第七部長武內作平（政友）理事[illegible]雄（政友）▲第八部長[illegible]友（政友）理事[illegible]傳六▲第九部長大谷高寬（政友）理事三木武吉（憲政）

◇全院委員長は德川侯か

貴族院各派は協議會散會後議員總會を開き全院委員長、常任委員長決定の件を幹部に一任するに決し各派代表者は廿六日午前十時委員決定の筈なるが全院委員長には多分德川賴倫侯選ばる可し（東京特電）

◇國黨代議士會

國民黨にては廿五日午後零時半より本部に代議士會を開き院內總務其他役員の詮衡に就き協議し犬養總理の總務を加へ五名の選擧委員を擧ぐる事にし犬養氏より關和知氏以下五名の詮衡委員を指名し同一時半散會せり（東京特電）

◇日伊通商條約延期決定

二十五日最終樞府會議を開き小學校令中改正の件其他四件を附議し日伊通商條約期限滿了一年延期に決し散會せり（東京特電）

◇園侯一行顏觸

講和全權使節として渡歐す可き西園寺侯一行には侯の令息西園寺八郎氏夫妻秋月左都夫、佐藤愛麿兩氏及び近衛文麿公其他約二十名加はる可しと（東京特電）

◎總督歸任

長谷川總督は新內閣と政務打合せ其他の用務を帶びて東上中の處豫定の如く二十五日午後九時十分南大門驛着列車にて附武官村田少將大久副官神田秘書官等を隨へ歸任直に官邸に入れるが南大門驛には山縣政務總監以下總督府各局長官房長並に所屬官署長朝鮮貴族民間有志多數の出迎へありたり

◎仁川期米强調

仁川期米市場は政府の米價調節策發表以來兎角氣味なるに各地正米の續騰及び年末にて手仕舞ひ相場の關係上頗る强調を示し二十五日前場は先限高値三十一圓十錢止り三十圓九十一錢と頗る强調を示し更に後場は大阪電報未着なるも前場の後を受け終始强調を失はず先限寄り附三十圓八十五錢三十一圓三錢止め卅圓九十七錢を示せり

◎殖銀金利整理
既に各地共實行

朝鮮殖産銀行にては既報の如く農銀時代區々に亘つて統一を缺ぎたる貸出金利の整理を斷行する事となり重役會議にて確定の結果決定せしを以て過般各支店に其標準金利の通告を發し何れも漸を逐つて實行を期し居れるが整理の眼目は全支店の貸出金利を四段に區分する事の二點にあり而して貸出金利の區分は（一）朝鮮銀行支店所在地並に鐵道沿線を最低率に置き（二）道路沿線に近き交通の便利ある土地乃至光州全州清州の如きを第二位に據へ（三）第三に屬せざる（四）は交通の便ある土地滿州島茂江陵等の僻隔地に區分せるが金利は最低二錢三四厘より最高三錢七厘位とし之を從來最高に比すれば六七厘の低下を來し居れり

◎日石參謀長出張

第十九師團參謀長白石通則大佐は過般江沿岸部隊視察巡視兵器檢査の爲め來る廿八日より一月廿一日迄を以て江界滿浦鎭、中江鎭及惠山鎭並茂山方面に出張すべしと

◎芳澤參事官通過

北京支那公使館參事官は既記の如く二十五日夜南大門着列車にて京城通過南行せるが東京に立寄り直ちに東上すべし

◎葉恭綽氏動靜

個人の資格（半官的意味）を以て京城に赴くべく南支那通過次第京城に赴く運びとなるべし（奉天）

發列車にて大連に向へるが途から引返し朝鮮經由日本に向ふべしと（奉天特電）

◎木村理事歸朝

入京中の木村鮮銀內地總支配人は二十八九日頃歸京の豫定なりと

人事消息

▲酒井忍吉氏（朝鮮總督府鐵道局副官）廿五日夜入京朝鮮ホテルへ
▲作田三氏（新安州大倉發電所主任）同上不知火へ
▲首非陸氏▲成田健一氏（以上淡口竹早洋行社員）同上天眞樓へ
▲小島常次郎氏（海軍大尉）同上
▲川本常之助氏▲古賀常次郎氏（以上三菱社員）同上
▲矢掾氏（三菱社員）▲宍戸弘三氏（東京鐵鋼家）▲鈴木平（同上）▲松浦鳥三人氏（咸鏡南）廿六日朝京
▲秋山師團參謀　守備隊射擊祭に出八日より一月十六日迄江界滿浦鎭楚山碧潼昌城新義州出張す可しと

鳥瞰錄

◎今度値上げを一寸した電燈の故障も放棄つて事務所にや電燈の故障も實際困るが。京電の木本君は果して事務所で云ふ話である▲京城の市民は相當な電燈の料金ならその負擔を決して辭するものでない。他地より低いものを引上げるとか云ふのであれば四の五の云ふ者はないのである▲然し京城の電燈料は茲に例示をするまでもなく內地の同格の街に比し既に十燭に付二十錢以上も高いではないか▲更に戰爭はすむ、物價は勢ひ下り坂にある、會社の自然增收はズンズン殖ゐる▲それに又復此の夏に却下された一割値上げをやらうと云ふのはどうしたものだ▲戰爭の前途は見定めつかず、物價は上る一方の去る六月さへ値上の理由なしと云つた當局が戰爭はすむ、物價の前途、略ほ見極めのつく今日、高きに過ぐる電燈料の値上を容認するかどうか若し容認しれようと思つてゐるなら、木本君の頭は餘程どうかしてゐる▲而して云ふに事缺いて電燈の故障を惹き起うつて置くとは何の事だ▲日に日に停電は少いけれど料金の徵收や瓦斯料金の徵收はザラで事務處理は非常に急である▲而し停電續行と來ては市民はたまつたものでない▲尤もさうなれば當局の監督權を正面より行使されるのであらうが、左樣にして根本的に京電の廓淸をやらるのは一方法かも知れぬ▲序に木本君はさう口が輕い下らぬ事を不用意に漏らすがある▲資本金九百萬圓京仁鐵四地の電燈その他の公益を營む大會社の專務取締役だもう少し口を愼んだがよからうと云つてゐる人がある

婦人 新年號　安全生活號

特別附錄　婦人衛生の巻（册子）
醫學博士　額田豐　これ額田博士が衛生の根本義より衣食住に關する主婦の守るべき各種の攝生法を極めて懇切に平易に講述せられたるもの

今年の家計豫算は如何にすべきか
○月收百圓で四人家族の官吏○五十圓の月給で四人暮の教員○商店員で七十圓月收の家○七人暮しの家の豫算○職工で月七十六圓六人暮し○官吏で三人暮し月收六十圓○九十圓で四人暮し官吏家計○教員で六十圓の月收○家族四人で月收五十三圓○實際の家計を御參考に

結婚風俗　諸國安地方の珍奇話

▽主婦に必要な正月の家事
▽私の子供の名は新年の手紙
▽正月の贈答品
▽我家の自慢のお料理

我が家の新年の催し

特別口繪　新年の客　池田方
新年附錄　家庭漫畫双六

表紙　春の光

小說　菊　長篇　野　呪の手　押上の鶴　心の扉

東京社　各地書店賣捌

本號に限り定價拾錢

軍隊拂下大賣
冬物外套、毛布、冬袴、小倉服、アイボーシャツ袴下、軍手、ジャケツ、軍帽、靴下、雨合羽
龍山元町二丁目　川本衣服店　電話五六

株式會社第一銀行京城支店
資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千參百參拾萬圓
總預金　貳億七千萬圓
京城本町二丁目　電話二三一七番
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三郎

年末、年始の贈物に
アナタの好意を幾久しく記念する
パイン萬年筆を御撰び下さい
▲箇裁頗る優美なる携帶用筆箱付▼
割引特價　最新型　式五圓八十錢
同　金飾付七圓八十錢
發賣元　京城太平通　京城日報代理部　振替京城三〇〇

ハレー萬年筆
敏活正確を尚ぶ事務家の必携品
京城本町　熊平支店

朝鮮蠶業株式會社株式募集

堅實有利なる事業の提供
蠶業界の要求　近年朝鮮蠶業界の異常なる大發展に伴ふて之に要する蠶具の需用は實に莫大なるものありと雖も斯界の要求する優良品に乏しく到る所として嘆嗟の聲を聞かざるなし從つて朝鮮蠶業株式會社の供給は直に其根本要件を解決するものと謂ふべし
本會社の營業目的　蠶種の製造種苗の育製販賣農蠶具肥料販賣仲立委託

募集要項
一資本金總額　貳拾五萬圓（五千株）（一發起人及贊成人に於て四千五百株引受濟）
一壹株金額　五拾圓
一募集株數　五百株
一申込證據金　壹株に付金貳圓五拾錢
一第一回拂込金　金拾貳圓五拾錢（證據金共）
一申込期限　大正七年十二月三十一日迄
一募入決定法　募集株數に超過したる場合は發起人に於て適宜之を裁定す

大正七年十二月
全羅北道裡里
朝鮮蠶業株式會社
創立委員長　大橋與市

發起人及贊成人
○今村一次郎　柳大根　○佐藤幸三郎
○板井信藏　大倉米吉　金炳順
井上工一　○扇米助　金時淵
李培源　○片桐和三　吉村爾三
白南信　田坂佐三郎　○宮崎保一
朴在新　○倉田光藏　○森谷元一
朴基順　文斯玉　イロハ順
邊鳳鎬　眞田壽助　○印發起人

定款目論見書及申込書は御申込次第送附可申候

東京山本大印石版活版インキ特約販賣店
帝國火災保險株式會社
大阪海上火災保險株式會社
つちやたび並ニいろはたび
京城代理店　朝鮮代理店
貿易雜貨商　藤富國太郎商店
京城本町三丁目　電話三〇八番　振替京城一七七八番

朝鮮學術研究會編
中等學校 商業學校 高等女學校 高等普通學校
入學試驗問題答案集
大正七年度　四六版二百餘頁　定價金五十錢　送料四錢
入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ
發行所　京城本町　ウツボヤ書店　振替二三三二
賣元　京城太平通　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番
取次販賣所　大阪屋　岩松堂

◎國母陛下御仁慈

不幸の患者と孤兒に香著を御下賜

皇后陛下には毎年一月恒例の入後再賜あり本赤十字社病院東京慈惠會各在院施療患者及東京育兒院在院孤兒の状況を憫然に思召され双子木綿地裏表に裁縫料を添へ下賜あらせられたる處昨年より畏くも不幸の患者孤兒に對し御内に恩賜の御沙汰を傳へ目出度新年を迎へしめばやとの有難き思召を以て歳末に恩命を降し給ふた本年も右病院各會の患者並に孤兒數の御内命のあつた趣故本年中に夫々恩賜の御沙汰あるべしと承はる(東京特電)

◎阿只姫國語を御勉強

兒君王世子殿下の御婚儀を喜ばれて―◇

方子女王殿下とのお談話の爲に

李王世子垠殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀は既に御擧式の日取も御決定相成り李太王李王兩殿下を始め各宮家の御喜びは申上ぐる迄もなき事なるが中にも世子垠殿下の御妹子に當らせらるゝ阿只姫は愛敬日にして芽出度く八歳の齡を重ねらる・御頑是盛りなるが御兄君の御婚儀が何れ程か嬉しく且つ樂しく思召されてか近侍の者に對して兄君の御婚儀はまだかく〜と御尋ねあり愈々御擧式日の御會得ありて以來は御姉君たる方子女王殿下と御話が出來ざるは殘念なりと思召し昨今非常に國語の御勉強に勵まれつゝある由拜承せり

◎獨逸では過激派

が敗けた◇…全國勞兵會總會で

愈々建國大會の段取となる?

去る十八日伯林に開かれた全獨勞兵會の總會に於て獨逸の所謂過激派は遂に敗北して愈エーベルト現政府の勝利となつたことは大いに注目に値する伯林に於ては去る十六日以來全國

◇**各勞兵會** 代表者兵卒委員會委員政府側代表者及びスパルタカス團の代表者相會して勞兵大會を開催し獨逸建國の基礎を定むべく來る一月十九日建國大會を開く段取となり勞兵大會は引續き開會され十八日に及んで會議は白熱點に達し各派代表者は盛んに

◇**侃諤の論** を闘はした結果遂に過激派たる勞兵會は敗北し從來勞兵會が掌握して居つた立法及び其實行權を悉く擧げてエーベルト現政府に讓渡することゝし勞兵會は單に委員若干を選んで政府を監督するのみとなつた即ち現政府は今後國内總ての

◇**實權を掌** 握して外に對することゝなつたのであるが現政府側としては勞兵會の一部及び兵卒委員會を抑て兵卒委員會は主として陸海軍將校から組織されヒンデンブルグ元帥も加はつて居る從つて斯うした軍閥派流が多い事と或は今後

◇**帝政復活** 運動の勃興を豫期する者もないのではないが是は現時の獨逸として殆んど望み無く殊に戰線から歸つた兵卒等に對し過激派が更に過激思想を吹込む事は明確であるから復活運動の如き先づ絕望で兎に角今後尚ほ幾分の小波瀾は免れないが政變は一寸茲に一段落を告げ愈建國大會の段取となるだらうと

◎出版界の厄年が…

◇…漸く去つた

今度は雜音が出るか●●●

紙價及び印刷費の騰貴で久しい間大打擊を蒙りつゝありし我出版界に平和の第一年が明けんとす書店員は多事なりし既往を回顧しつゝ語りて曰く『紙代が四倍印刷費が五割高でいくら

粗末な紙 を用ひ製本を狹くしても書籍の定價を戰前に比し五割方騰貴なければ引合ひませんでした購買力は困憊に行りましたが印刷所の方で書籍の外に諸紙などの註文が多いのと職工缺乏の爲到底我々の註文に應じ切れません其意味から出版は實に困つた從つて一番よく賣れる文學書類でも二流三流の人のは出版せず原稿の買潰もせず一杯々々に行つて來ました一昨年などに比べると出版部數はズツと減つて居ます

▲**文學の次** に賣れたのは上製書籍で増加率から云へば雜誌が第一でしよう丼して戰後を豫期して居ます其外で實業書を有望と見て居ます其外で敎育書か大に須要するだらうと思ひます紙の買占品も大抵消費して了つた頃ですか平和になつて生産も豐富にならねば紙代は急に下りますまい出版界が眞に賑ふのは夫れから後です』(京)

◎咸興の殺人強盜

咸鏡南道咸興郡上朝面上南里…こは十一月三十一日同郡川西面陟谷里に於て何者にか慘殺せられ所持金二百圓を略奪されたるが所轄咸興警察署にて強力犯人捜索に努めたる結果右犯人は同里雜貨商韓尊■なる事判明せり加害者は嘗て

▲**被害者** の手先となりて物價買を營み居りし處兇行當日被害者が咸興市内上里金貨商張■より現金二百圓を受取りしことを豫知し居たるによりその歸途を邀して慘殺し所持金を強奪し自宅に潛伏中を取押へられたり

◎天に榮光 地に平和

歡喜に輝やくクリスマスの夜

聖誕を讃美したる童話劇『よろこび』の中に賀四縣聖曲と對話と獨唱

京城基督敎會

京城基督敎會日曜學校にては廿五日午後六時半からクリスマス祝會を催した。會堂は萬國旗を以て裝飾を施し

◆**聖誕の方を舞臺** として背景には聖國エルサレムを描き前面には自の引幕を以てプログラムの進行を區切つて行くやうになつて居る。催しは先づ奏樂から始まつて讃美歌、唱歌、朗讀、祈禱があり一番飛んで幼稚科生の『星、雪』と云ふ可愛らしい歌と童話劇『日曜學校』とが大喝采を博した。それから默劇、お話、對話、プレゼント贈呈、活人畫等の面白い催しで賑つた

◆**夜の敎會堂と天使** を描き平和の氣分が漲つて居る。定刻先づ讃美歌五十七番から始まつて聖書朗讀や祈禱が終つて催しに移り唱歌(うれしいクリスマス)から對唱(聖誕の夜)まで二十二番のプログラムが何れも大きな歡びの中に濟み最後に賞品授與があつて十一時過ぎに散んだ

メソヂスト敎會

旭町二丁目の日本メソヂスト敎會でも同日午後六時半からクリスマスを執行した。會堂内の周圍には平和を象徵する鳩の群を現はし背景には

日本基督敎會

谷川町の京城日本基督敎會でも同日午後六時からクリスマス祝賀を執行した。會堂内は綺麗じやかに裝飾され

◆**聖壇には星の夜空** を現はしその前で四十餘番の催しがあり、暗誦、對話、說話、獨唱、ヴアイオリン、お伽話等があつて何れも平和な團欒の中に神の榮光を祝し堂内溢れるやうな會衆が會堂から散つて行つたのは十一時頃であつた。

京城基督敎會の降誕會

◎混雜の……

南大門驛

乘客が毎日四千人殺到

遺失物が多い

南大門驛の昨今は旅客の増加と共に物の激増によつて混雜横溢の觀がある。乘降客合して毎日四千人に上る之は昨今各學校の閉鎖と共に學生が歸省するのも増率の一原因である。之を平常の乘降客數に比すれば

▼**三割** 之を昨年の昨今に比すれば二割の増率を示して居る。そこで南行北行の各急行列車は何れも溢れるやうな客を運び當局では不足を感ずるので本日急行其他の列車に二輛乃至三輛の客車を增結して居るがそれでも充分とは云へない位だらうである。之れから二十八九日頃になると各官廳の御用終ひとなれば旅客は

▼**激增** するに違ひない。そして之までの客は短い距離の往來が多かつたのが之から客は滿洲方面行きの遠距離行きが多くなる。それから一時中止して居た京義線の夜行九時四十分南大門驛發列車が二十五日の夜から復活したから北行旅客も大に助かるわけである。斯うして逐日南大門驛の旅客は增加し益

▼**混雜** する樣になるであらうが此の混雜の爲めか信玄袋、風呂敷包、手提鞄が毎日平均二十幾件づゝ待合室其他構内に遺失されて居るさうである。

◎箱切れの景氣

師走の花柳界

師走は花柳界の書入れ時、殊に昨今は年中行事の忘年會や親睦會などで

◆◆**會合** が矢鱈と續くので一晩に二組や三組、何處の料理屋でも飲食店でも忘年會の二組や三組ない所はなく家によつては愈ドン詰まりの大晦日までズツと附け込みの所もある、會費は花月、千代本、白水、清華亭と云つた

◆◆**一流** どころで一人前五圓以上、鈴木の宴會などは餘興の繩引にウンと力瘤を入れたので一人前二十圓にも付いて居ると假々の噂が迄のところ是が何うやら記錄破りの方らしく半拓の十周年記念祝宴はこの鈴木に次いで奮發した宴會だと云ふ事である

◆◆**毎年** 華やかな忘年會を

年末雜觀(七)

つて財が附いてアラあれも忘れた、これも買つてこなかつたなぞと思ひ出すものだ。其爲め大抵の婦人は手に手帳を持つて物を云ふのは帖面上で七分三分に見て買物を繕するつまらぬ事許り書いてある。手帳も此の所仲々役に立つてゐる(續)

いゝやうな贈物も、買ふのは何か忘れないやうに、小さい道具になると一寸忘れ易い

◎惡感冒と保險會社

朝鮮丈で二百八十萬圓

支拂の筆頭は日本生命と千代田生命

この度の流行性感冒は殆んど全地球を包み日々怖ろしい程の死亡者を出したが是が爲恐慌を感じたのは各保險會社である夫は各社共加入者の死亡率が意想外に多數に達して是に對する保險金の支拂ひによると

▽**莫大な額** に達したからである日本生命、千代田生命、帝國生命、第一生命等であるが是等の會社が最近までに支拂つたこの種の保險金額は各四十萬に近く夫は日清生命、帝國生命等であるが是等は少くない額である。朝鮮丈でも十萬圓内外を拂つた會社は少くない

▽**其金額は** 約二百八十萬に達し日清戰爭の時支拂つた保險金約八十萬圓日露戰爭の時支拂つた保險金約百六十萬圓を合して尚且つこの度の支拂は之に及ばぬ程である、尚朝鮮は内地にくらべて死亡率比較的少く病氣その者は終熄期に近づくに從ひ徐々に

▽**惡性に變** じた傾きはあるが概して流行期が短かつたのは何よりの仕合せと言はねばならぬ

◆◆**成金** 氣分が拔けない故やる三井物産は可なり奇拔な趣向らなし目下折角考案中だと云ふからその會期たる廿八日は見のであらう、二流の料理屋になると會費も幾らか廉くなるが打ち寄く好景にまだ四圓以下の會費と云ふものは一向に擬へる樣もなく講和來で一向手控へる樣子もしたくもない相な、清香園江戶川なぞは毎夜藝者ヌキの連中でつてるるが總じて忘年會には附たけに料理屋で遣る連中は皆言合したやうに美しい所をその御文從つて

◆◆**藝者** や半玉は引つ張凧で何處の券番でも箱切れと云ふ大繁昌である、平素はお茶を挽いてピイく〜悲鳴を擧げて居るお多福までが飛ぶやうに賣れる相な、困るのは斯うした所謂の書入れ時に滿處會釋もなく目星い藝者を引つこ拔かれることだ暮になつて

◆◆**新顏** も少しは來たが抱へ一して藝者雛の聲の高い此節殊に押し詰つては後を補充する事が困難なので置屋側では一般に非常な苦痛恐慌を感じて居ると云ふ

故鈴木校長吊慰及奬學資金寄贈者名

(第十九回)

- 一金五圓　中央町　粟島
- 一金九拾錢　東大門小學校一ノ一　無名氏
- 一金九拾錢　同六年生　無名女
- 一金貳拾圓　平壤中學校　職員生徒一同
- 一金拾圓　平安南道安州小學校長
- 一金拾圓　鈴木重憲外職員廿二人　大邱公立尋常高等小學校
- 一金拾圓　有田鐵藏及職員一同
- 一金壹圓八拾錢　平壤公立尋常小學校　第四學年生一同
- 一金四圓五拾錢　慶北星州公立普通學校
- 一金貳拾四圓　京城府内　京城府公立普通學校　職員一同
- 一金四圓五拾錢　咸鏡南道咸興公立尋常高等小學校長　職員一同
- 一金參圓　龍山大島町　永留信一
- 一金壹圓　同　永留信二
- 一金壹圓　同　永留瓊子
- 一金壹圓　都染洞　佐久間り
- 一金九拾錢　元町校同窓生　山本富貴子
- 一金五拾錢　京城公立高等女學校二年生　松井ハツノ
- 一金壹圓　京城女子高等普通學校師範科生　富永ちよう
- 一金五拾錢　京城中學校生徒　米澤康司
- 一金五拾錢　同校同窓會員　鷹居忠雄
- 一金三圓　佐藤
- 一金三十圓七十錢　京城普通學校職員一同　小川延
- 一金三圓　本町五丁目　河内鐵吉
- 一金二圓　同　半澤
- 一金二圓　南米倉町官舍　中村サク子
- 一金一圓　同　中村由喜子
- 一金一圓　同　中村京子
- 一金二圓　鐘路小學校生徒　尾石菊代

小計金百三十三圓也

累計金三千五百三十五圓九十六錢五厘也

夜勤給仕入用

本社編輯局夜間勤務給仕一名入用(但し當地に父兄無き者は相當の身元引受人を要す)

京城日報社

第二回決算公告

大正七年十一月三十日現在

貸借對照表

借方 資産ノ部	金額
未拂込株金	[illegible]
土地及家屋	[illegible]
機械及器具	[illegible]
材料品	[illegible]
什器	[illegible]
商品	[illegible]
原料	[illegible]
半製品	[illegible]
製品	[illegible]
受取手形	[illegible]
有價證券	[illegible]
委託販賣掛金	[illegible]
預ケ金	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

貸方 負債ノ部	金額
株金	[illegible]
借入金	[illegible]
假受金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
買掛金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

損益計算書 | 總益金 | 總損金 | 差引 當期利益金 [illegible]

利益金處分 | 法定積立金 | 機械償却準備積立金 | 役員賞與金 | 株主配當金(年六朱三、) | 後期繰越金 | [illegible]

右之通候也

大正七年十二月

朝鮮燐寸株式會社

取締役社長 奧田貞次郎
專務取締役 白神專一
取締役 和田友太郎
同 今村順次郎
監査役 高木メ助
同 淺松兆太
同 多田榮吉
同 小泉芳吉

◎好評如湧 忽册版 手紙文庫

【應用自在】

▼どんな手紙でも頭を痛めず即座に書ける

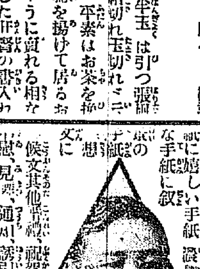
苦心の大著 今回完成せる新體美文手紙文庫は有名なる文家川上眉山先生高足、田中貢太郎氏が半生の心血を傾倒して完成し苦心の大著にして全巻を春、夏、秋、冬、雜の五巻に別ち各巻を更に月別とし其月々に必要なる用語、文例を漏れなく集め其數實に一千三百餘種に達し悲しい手紙に嬉しい手紙、候文其他書翰、祝賀、見舞、通知、誘引、照會、依頼、謝禮、催促、招待、訪問、吊事、借用、贈答文に到る迄本文へあれば頭を痛めず即座に思ふ手紙が自由自在に書ける其他の本書は文庫の大冊一冊三百六十頁六號活字五倍の價値あり

◎特價 一圓五十錢の處今回増補の定價記念の爲め新に引一圓十錢に割引す希望者は記入注文あれ

▲代金は前金引換郵便で送料共一圓十八錢

振替東京二四八六 東京市青山南町六ノ一三五 手紙文庫刊行會

◎此際先着注文者五百名に机上便覽日用書翰文用語集二冊無代添付進呈



登記公告

大正八年中(?)當院管轄ノ山、新溪、沙里院、遂安、谷山、出張所ニ於テ取扱フ商業其他法令ノ規定ニ依ル登記ノ公告ハ京城府發行京城日報ニ掲載ス

大正七年十二月

海州地方法院

購買入札

一、第一號 特等米百石外二點
一、第二號 玄米九十一石外二點
一、第三號 精粟三百石

右購買ス詳細ハ大正七年十二月二十六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨし

朝鮮總督府

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 迅速と懇切を以て最も低價に御應じ可致候

京日寫眞製版部

京日案内

一回前金一圓(一行十四字詰)廣告料金は新聞掲載前金外一回にて御申込は一回以上の御申込は特に割引のこと 一回前金を以て御申込は返信附にあらざれば回答せず

◎御袴仕立專門

好評能く迅速丁寧に調進可仕候

京城本町四ノ一五 山崎商店

◎至急乳兒

預け度し文入ても保姆に雇入ても可(本年九月生男子)希望の方は至急御來談を乞ふ

京城太平町二丁目更科東 遠藤

無効

京城銀行小切手A〇五〇八號大正七年十二月廿四日高島周治振出佐伯勝正宛七十二圓九錢小切手十二月廿五日紛失候今後發見使用無効

佐伯勝正

◎代診看護婦

至急入用、希望者來談あれ 藥局生

仁川宮町 松本病院

◎簿記係一名入用

希望者は自筆履歴書持參乙來談 電話三一六番 南大門外 齋藤商店

外務員招聘

業務大擴張の爲め社員數名採用希望者は自筆履歴書送付あれ面談地方は

京城黃金町二 日清生命朝鮮支社

◎金細工職人募集

京城黃金町二丁目電話一〇二五番 喜多金光堂金工部

旭炭團卸小賣

大勉強販賣 京城龍山間遠近多少に依らず配達仕候 南大門通 成湯 前電取次四八一 宮崎商店

◎ほねつぎ

うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず

明治町 柔術道場

年金恩給

低利長期即時立替 名利息前引なし 京城永樂町一

商品年半金保險不要 四十去前列館下角 江州屋本店

人蔘と鹿茸の強壯劑　いんやうゑきすは　淫羊藿エキス

通稱三枝九葉草エキス

適應症 一、思考判斷及び記憶力の減耗を癒す 二、貧血、婦人病 三、精神の耗疲、神經衰弱、勞役の疲勞を癒し又疲勞を恢復す 四、産前産後及病後の衰弱 五、血の道 六、子なき人に良し 七、貧血症 八、手足の冷え 九、陰萎、遺精及子宮病に良し

主効 神經衰弱 貧血症 腺病 腦 胃腸 心臟病 リウマチス 老衰 肺病 ヒステリー 萎縮腎 ホポコンデリー 力衰

定價 三十五入 五十五入 九十五入 試用 參拾錢 五拾錢 壹圓 送料 鮮外 廿錢

全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

京城特約店 北島支店 山岸天佑堂

眼科專門

京城若草町(新道路中央)

金井眼科醫院

電一五五六

新患受付 入院隨意 日曜祭日午前中

產婦人科

京城壽町 電話二一〇一番

醫學士 二宮亮吉

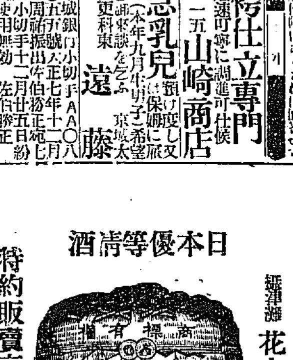
二宮醫院

冬の旅行の魔法瓶は旅行鞄

旅行具專門 岩田鞄店 京城本町二丁目(電話五九四番)

日本優等清酒

灘 花木本家釀造



特約販賣 京城 島屋本店販賣部 電話九〇三番二三〇番

フクムスメ

內科 胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目

石川醫院

電話 一三七二九 一三九〇番

Ⓚ 藥種賣藥卸商

仁川本町 北島藥店 電話二三四・振替京城六七番

京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

醫化學諸器械一式

手品

傳授 一寸の呼吸で萬人を感服せしめ必ず拍手喝采を博する最新魔術 ●本紙愛讀者に限り無代進呈 ●誰でも往復書で申込めば興に最も妙也 ●出る ●各神宴會の餘興に最も妙也

京都市新町通下立賣上ル ●萬國奇術會

得ることゝなりたるに依り明年度の修了者は明年より新に受驗資格を一時的現象として已むを得ざる所なり右の如く入學者の低下に伴なひ受驗科目及び程度を低下す了者の受驗に適應せしむべく改正せん方針なるが是等は何れ明年の入學試驗規則改正の標準となるべし新學令及高等學校令施行細則は明年一月中旬迄には發表せらるゝ

神戶期米

三八、〇〇	三七、八〇
三七、八二	三七、五一
三七、八二	三七、五二

十二月限 [illegible]

▲後場中限一節三十一圓六十錢二節五十錢六十錢平均値五十五錢三節六十錢高値五十五錢六十

一節三十一圓九十八錢七錢八錢二節九十九錢八錢九錢六錢三節九十八錢七錢五錢四節九十八錢七錢八錢七錢

平均値段	
一節	三十一圓八十錢
二節	三十一圓九十七錢
三節	三十一圓九十八錢
四節	三十一圓九十七錢

母と子 (六十三)

北島春石作　森田久畫

革命戰(一)

近頃の雅巳は鬱々として樂まなかつた。親ゆづりの財産が約五萬圓、それに高田老松町の宏大な邸宅の外二三箇所に地所や家屋も持つてゐるので、會社へ出るこ云つてもほんの勝手づこめ、野心も起さず覇氣も出さねば、多少は男がすべき道樂するこも、まづ比較的安らかに送れるのだが、あれ程、貞淑であつた志保子に繼續けて追出した後、今まで他知れず闘つておいたお葉な[illegible]娶に引つ張込んでからは、自分ながら解釋に苦しむやうな不足さを感じられた。

それからもう三年になる……お葉は一家の妻こしてはいろ〳〵缺點をもつてゐた。たゞ妾こして外へ圍つておいた時分は、その我儘も、難からず、寧ろ云ふ大きな子まであるのに、朝から化粧三昧にうつゝ身をやつし、流行を追ふ衣裳ごのみも女らしく、酒の相手もたくみに、醉つたまぎれに小唄の二つ三つ、總てが愉快に面白く感じられたが、人の妻こしては惡い癖ばかりが目に立つ。

『俺は失敗つた！あの頃はお葉の言葉のみが信じられ、志保子こ佐久間藏造この仲が疑はれ、深くも事情を質さずに離別したが、その後、俺が不在中であらうこも斷じて彼奴を出入させてはならんこ堅く言渡しておくに、今でも隱れて來るらしい樣子を見るこ、お葉が彼奴こ相談づくで、志保子にぬれぎぬを被せ、此岸上家へ乘込んだのではあるまいか』――こそんな疑惑の眼を向けるやうにもなつた。

然し、それには確たる證據もない。第一、叔父の森泉直樹や高松朔平に對しても、今更お葉を離別しては男子の面目が立たぬ。加之俺がこの兩手をさけて、もう一度志保子に戾つてくれこは、聲へ口が裂けても頼まれない……こすれば、假にお葉を離別した後は何うなるだらう。いづれ三度目のたゞ娶らねばならぬ。今は幸枝の行方が不明こなつてゐれご、やがて探し出して連戾るこすれば、そこには二人こも母ちがひの子供が出來たる譯だ。幸枝一人の所でさへ同彼奴こ波瀾の絶間がなかつたのに今度こそは俺までが狂人にならなければなるまい。

それを考へれば、雅巳は多少の後悔を感じながら、男らしく一刀兩斷の處置もこれなかつた。

惑うした心の革命戰は、雅巳をして紅い焔を燃えしめた……志保子の後釜こしてお葉を引入れた當座の一二年は、會社の退けて間も解つてゐる筈だし、電車に乘つて自宅までが何十分かゝるこ、年中間の狂ひもなく歸宅したものが、この春あたりからはこかく不規則になつて、何うかするこ、終電すぎに俥に醉をさましながら歸るこごもあつた。

お葉は又粹も甘いも嚙分けたそれしやあがり、ぷんこ鼻を打つ酒の匂ひを嗅いだゞけでも、今頃まで何をしてゐたか、唯おこ〳〵しゐるやうな女ではなく、優しい口は利いても心には、悲の焔を燃やさずにはゐなかつた。

今更改めてその暗い前半生を辿くまでもないが、お葉が泥水の底に沈んでゐる頃、蓼食ふ虫も好不好の比喩に洩れず、あんなあぶれ壯士の何處に氣に入つたか、佐久間藏造こ深い關係を結んでゐた。尤も、その頃は藏造も大分金まはりがよく、時に依るこ、二百や三百の金は懷中へ入れて來た。そして、やれ政界の誰それが何うか惑うのこ、さかんに怪氣焔を吐き散らし、今度の内閣が倒れたならば、自分が天下を掌握でもしさうな意氣組みを示せた。つまり、お葉はその法螺に引つ掛つたのである。

最初は待合の暗い四疊半裡で出來た關係だが、やがてお客こ藝者この域を脱して、夫婦こも云ふべき濃い色彩を帶びて來た。けれごそれも長續きはしなかつた。こ云ふのは、だん〳〵こ藏造の[illegible]が剝けて來たからだ。相變らず凄じい怪氣焔はあげてゐるが、時しも實績が現はれず、一年こは經ぬ間にビッタリこ融通までがこまつてしまつた。

○英國での金持ち女

▽一生を慈善 ▽事業に盡す

エミリナ・タルボット孃は英國で最も金持の婦人この評判でしたが此程

△七十八歳 の高齡で死なれました。孃はクリストファー・タルボット氏の長女で、一八九〇年父の遺産約八千萬圓の財産を受繼ぎました。タルボット孃は社交界に目立つた活動はしませんでしたが、マーガム僧院で靜かな一生を送られました。けれごも慈善事業に莫大の寄附をしました。最近二年間は健康の頗かつた爲孃は廣い土地を所有してゐたウエールスの平野で住んでゐるに堪へないので倫敦に移りましたが、

△倫敦でも 其生活はいかにも簡素で、親しい友達に逢ふ位のものでした。孃は不健康にも拘らず、戰時の慈善事業に深い興味を有して、グラモーガンには男子青年會の二つの建物に新築費を出しスワンシーの其の邸宅なるペリンス城は將校の病院に當て、自分の費用で萬事を賄ひました。又孃は絶はず艦隊に果物ご野菜を供給してゐました。又孃は、三十七萬圓を投じてカーディフの醫學校に豫防藥の講座を設置したりマーガムカッテージ病院に

△維持費を 出しました。英國教會に對しても孃は非常な恩人でした。多くの教會堂を建築したばかりでなく、困窮してゐる牧師の俸給を增してやりました。聖マイカル大學にゐる其の妹さんこ共に、クランダフ教區に僧侶養成所を建てました。孃の弟さんが一八七六年狩に出て、大變な怪我をして死にました。其の弟さんは教育の事業に深く興味を有してゐたので、其兄弟の記念の爲に、聖セオドーア教會を建てました。孃は悲觀的精神ばかりでなく

△事業上に も卓見を有して非常に努力しました。タルボット港の進歩こ繁榮も孃の盡力によります。このタルボット港は孃の父の名に因んでつけられた地名で小さな村から船渠や鐵工所や鐵道を有する繁榮した町になりました孃の所有地はタルボット港に一萬五千町歩あつて、それが主に鑛物を含んでゐるます、グラモーガンの西端のゴーワー半島に四萬町歩を持つてゐるます孃が父の遺産を受け繼いでからタルボット港の繁[illegible]に從つて

△其地價は 大に增しましたから、其財産は非常に殖ゑてゐる譯です、タルボット孃の親切な實例を擧ぐれば石灰製造業の破産に瀕したのを引受けて、職夫や其妻子を困らせぬために自ら百萬圓の損失を顧みなかつたさうです。第一回の戰時公債に孃は八十萬圓を應募しました。

京城本町 千代田號印舖 電話[illegible]

皮膚科 徽毒科
皮膚病 徽毒病 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
入院隨意 (診察從九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町二丁目) 佐藤醫院 電話一一七三番

◎日報歌壇

京城　露草

八日月は月の邸に影もりて われにそひたるかげの大きさ
暖かう三日月に似たる 背月もかすめりわが影ないさしきもの さ たのみつゝ小道をただ一行くかも
師走ながらに さまぐのよしあしごさもつれなきさびしらにわれ浮せさそいう
君と見しその口齢 もおりやなしや杉のむら立陰もさうさす
冷々と鏡の面のう すぐもりへだちし人の心地こそすれ
何がなし物足りなさも変はりて 踏付かれし師走さなれば

金南　隆城

君さ別るゝ
思ふ事の一つも顯はに云ひ得ざる 君がみ前の我哀しけれ
君去りてひさり物思ふ冬の 夜のこの寂しさを何にたさへん

○　哲郎

今年運びし枝得剪られ 師太の幹に淋しき力ほの見ゆ
時雨降る夜をいねがたく 宿醉めば向ひの窓の灯なつかし

○　岩田起代子

ごうさもなれ ごうともなれよ この想ひこのなすこさのならざるものを
たゞひさり街をあるけばもの思ふ わが溜息を人は知らじな
△冬の歌か募る

ミツワ石鹼

MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に仔細に遊離の亞爾加里を檢するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりこす。

皮膚の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、僅に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

○ミツワ石鹼

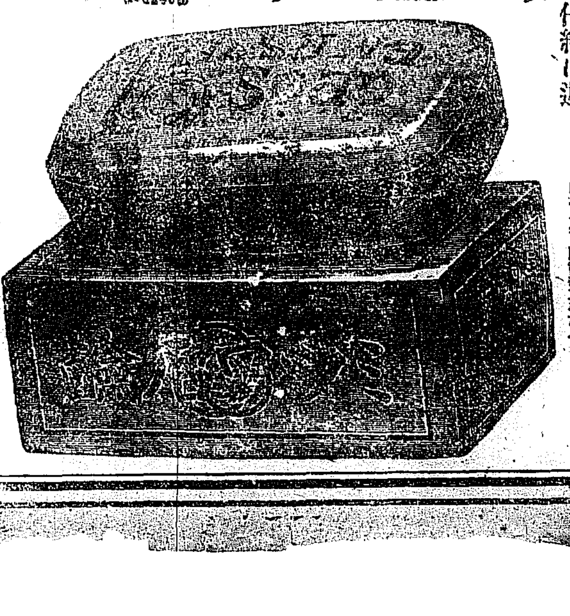
は化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。

二、溫雅の芳香を有す。

三、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

即ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ經濟に合する、理想的實用品なり。

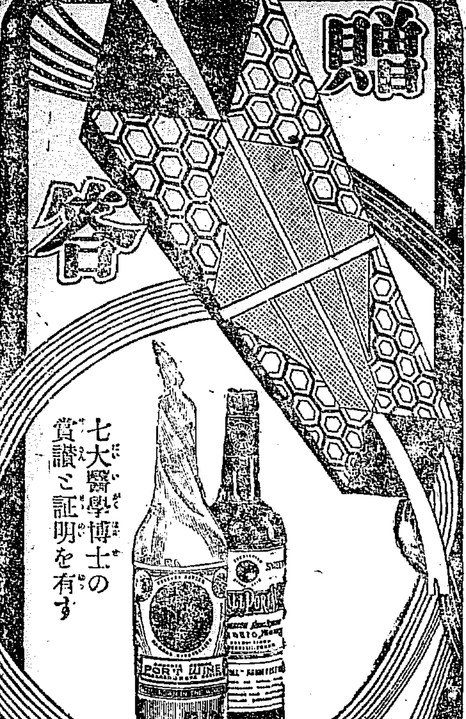


種		類	
大形	家庭用	定價金拾五錢	
中形	携帶用	定價金拾八錢	
小形	旅行用	(三ケ入)金拾二錢	
極小形	旅舘用	定價金六錢	

內地以外は郵税運賃を加ふ

天下一品 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九

鐵道拂下品販賣
冬羅紗洋服外套
毛皮胴着並防寒具
軍隊拂下品一式
特製品 [illegible]
和洋古衣服類各種
有多少に不拘御用命被下度候
京城 金子奥市商店 電話長一〇五番 振替口座京城三八三番



置けば置く程美味くて品の良くなる世界一の葡萄酒

赤玉ポートワイン

歲末年始御贈答の最好適品

先方の健康を祝する意味に於て体裁良くて贈答品として至極格好よし

○休戰正義批評

▲已むなきの[illegible] 十二月十四日[illegible]レーブ[illegible]に於て調印せられたる聯合[illegible]約所定條項中、聯合國の必要こ認めたる場合にはライン右岸の所謂中立地帶を占領する事あるべしこ[illegible]沈痛の批評を以て之を迎へ尚ほフランクフルテル ツァイツング[illegible]聯合軍の[illegible]進入は[illegible]資本家[illegible]れの又右進入を以て聯合側殊に佛國軍隊に過激派害毒を注入する好の機會なりこし之望ましき事に[illegible]獨逸船舶を聯合側監督の下に食料運搬用に供すべしこの條件は各新聞紙の一律に歡迎する所なるも本[illegible]過剩なき獨逸は食料を購入すべき資金を有せず左れば聯合國は更に一歩を進め右購入資金の融通を[illegible]

記者文藝 課題及び募集規定

[illegible]

募集規定

▲用紙ははがき又は同形の用紙一枚每に唯一[illegible]は消名の外に住所氏名明記の事▲賞は一等は五十錢[illegible]券を[illegible]す▲[illegible]は一週間後▲稿料の[illegible]每に[illegible]